TOSHIBA

dynabook

図解で読むマニュアル

Application

もくじ

記載について

・本書に記載している画面やイラストは一部を省略したり、実際の表示とは異なる場合があります。
・［スタート］メニューやデスクトップ、フォルダなどの内容は、お客様の使用状況により、本書と実際の表示とが異なる場合があります。

著作権について

音楽、映像、コンピュータ・プログラム、データベースなどは著作権法により、その著作者及び著作権者の権利が保護されています。こうした著作物を複製することは、個人的にまたは家庭内で使用する目的でのみ行うことができます。上記の目的を超えて、権利者の了解なくこれを複製（データ形式の変換を含む）、改変、複製物の譲渡、ネットワーク上での配信などを行うと、「著作権侵害」「著作者人格権侵害」として損害賠償の請求や刑事処罰を受けることがあります。本製品を使用して複製などをする場合には、著作権法を遵守のうえ、適切な使用を心がけてください。

はじめに

本製品を安全に正しくお使いいただくために重要な事項が、同梱の冊子『安心してお使いいただくために』に記載されています。本製品をお使いになる前に必ずお読みください。
本書では、次の決まりに従って書かれています。

記号の意味

お願い	データの消失や、故障、性能低下を起こさないために守ってほしい内容、仕様や機能に関して知っておいてほしい内容を示します。必ずお読みください。
メモ	知っていると便利な内容を示します。
参照	このマニュアルや他のマニュアルへの参照先を示します。 このマニュアルへの参照の場合 …「 」 他のマニュアルへの参照の場合 …『 』

用語について

本書では次のように定義します。

Windows XP ……Microsoft® Windows® XP Home Edition operating system 日本語版を示します。

Office Personal 2003 ……Microsoft® Office Personal Edition 2003 を示します。

Word 2003 ……Microsoft® Office Word 2003 を示します。

Excel 2003 ……Microsoft® Office Excel 2003 を示します。

Outlook 2003 ……Microsoft® Office Outlook® 2003 を示します。

ドライブ ……DVDスーパーマルチドライブを示します。

参照 ドライブについて『応用にチャレンジ 1章 本体の機能』

DVDスーパーマルチドライブには次のマークが入っています。

DVD MULTI RECORDER　RW DVD+ReWritable　COMPACT disc ReWritable Ultra Speed　または　DVD MULTI RECORDER　RW DVD+ReWritable　COMPACT disc ReWritable High Speed

または　COMPACT disc ReWritable High Speed　DVD MULTI RECORDER　RW DVD+ReWritable

＊マークの位置や並び順は異なる場合があります。

Office搭載モデル ……Microsoft® Office Personal Edition 2003およびMicrosoft® Office OneNote® 2003がプレインストールされているモデルを示します。

Trademarks

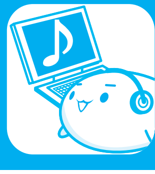
本書に掲載の商標および登録商標については、巻末をご覧ください。

バックアップについて

ハードディスクや外部記憶メディアに保存しているデータは、万一故障が起きた場合や、変化／消失した場合に備えて、定期的にバックアップをとって保存してください。
ハードディスクや外部記憶メディアに保存した内容の損害については、当社は一切その責任を負いません。
バックアップについて、詳しくは『困ったときは』を参照してください。

音楽を聴く

ビート　ジャム　フォー　トウシバ
BeatJam for TOSHIBA

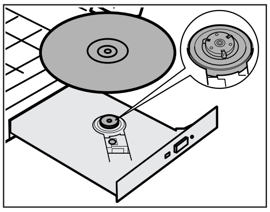


音楽を聴くには、「BeatJam」を使います。音楽CDを聴く以外にも、音楽ファイルを作ったり、好きな音楽ファイルをまとめて1つのリストを作ることもできます。

音楽CDを聴く

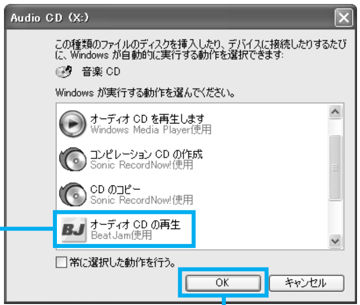
ここでは、音楽CDを聴く方法を説明します。ドライブに音楽CDをセットするだけで、「BeatJam」を起動することができます。

1 ドライブに音楽CDをセットする



2 操作の目的を選択する

［オーディオCDの再生 BeatJam使用］が表示されていない場合は、 をクリックして表示してください。



①［オーディオCDの再生 BeatJam使用］をクリック

②［OK］ボタンをクリック

【初めて起動したとき】
［使用許諾契約の確認］画面が表示されます。使用許諾契約に同意のうえ、［同意する］ボタンをクリックしてください。続けて、ユーザ登録をおすすめする画面が表示されます。［OK］ボタンをクリックし、画面の指示に従ってユーザ登録を行ってください。ユーザ登録を行うには、インターネットに接続できる環境とメールが受信できる環境が必要です。

「BeatJam」が起動しなかったときは、［スタート］→［すべてのプログラム］→［BeatJam］→［BeatJam］をクリックしてください。

音楽ファイルを作る／聴く

ここでは、音楽CDの曲をパソコンに録音して、音楽ファイルを作る方法を説明します。音楽ファイルを作ったら、そのファイルを再生してみましょう。あらかじめ、ドライブに音楽CDをセットしておいてください。

1 音楽CDから録音する曲を選択する

①［CD］ボタンをクリック
CDパネルが表示されます。



②録音する曲をチェックする
録音しない曲はチェックをはずしてください。

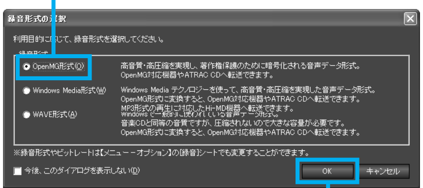
③［録音］ボタンをクリック

ここで、アルバムタイトルやアーティスト名などを設定することもできます。

2 録音する形式を選択する

ここでは、［OpenMG形式］を選択します。

①［OpenMG形式］をクリック



②［OK］ボタンをクリック

3 音楽を聴く

① [CD] ボタンをクリック
CDパネルが表示されます。

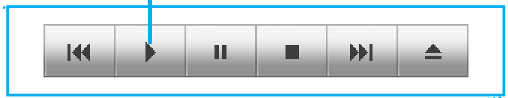


曲をクリックすると、その曲から再生を始めます。



曲を選択しない場合は、1番上に表示されている曲から順番に再生されます。

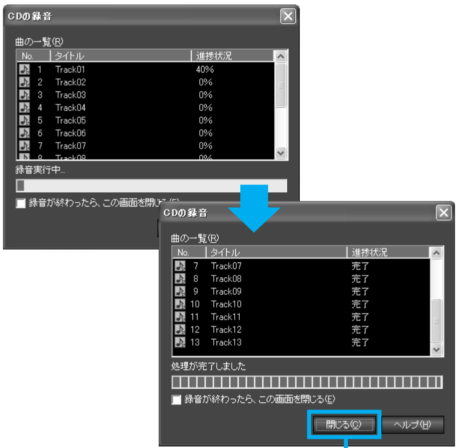
② [再生] ボタンをクリック



これで再生できました。

曲は、「Track（トラック）」と表示されます。

音楽CDの曲がパソコンに録音され、音楽ファイルの作成が始まります。



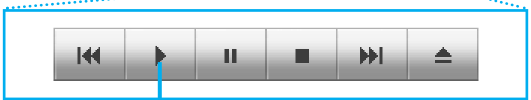
① [閉じる] ボタンをクリック

音楽ファイルの作成が完了したら、[閉じる] ボタンをクリックしてください。

3 音楽ファイルを再生する

ライブラリパネルが表示されます。作成した音楽ファイルは、ライブラリパネルで再生できます。





① [再生] ボタンをクリック

これで再生できました。

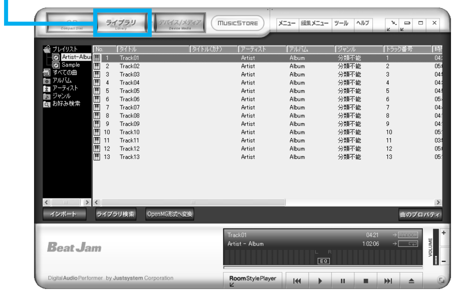
メモ

- 「BeatJam」では、MP3ファイルの再生は可能ですが、MP3形式のデータを作成することができません。
- 音楽CDの曲情報をGracenote CDDB® から取り込むことができます。Gracenote CDDB® については、「BeatJam」のヘルプを確認してください。Gracenote CDDB® を使用するには、使用許諾に同意する必要があります。音楽認識技術及び関連情報はGracenote® 社によって提供されています。

自分だけの演奏リスト（プレイリスト）を作る

ここでは、プレイリストを作る方法を説明します。音楽ファイルを好きな順番に並べて1つにまとめたものを「プレイリスト」といい、自分だけの演奏リストを作ることができます。

1 ［ライブラリ］ボタンをクリックする



2 プレイリストを作る



① ［編集メニュー］をクリック

② ［プレイリストの新規作成］をクリック

CDパネルの操作画面

ここでは、CDパネルの操作画面について説明します。

切り替えボタン
表示パネルを切り替えます。



ライブラリパネル
「BeatJam」で管理している曲を一覧できます。

CDパネル
音楽CDを聴く／音楽CDから曲を録音するときに使います。

MUSICSTORE
クリックすると、音楽配信サイトを紹介する画面が表示されます。



メニュー
「BeatJam」の各操作を行うことができます。

編集メニュー
現在編集しているパネルに関するメニューが表示されます。



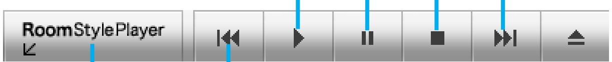
ヘルプ
「BeatJam」のヘルプを表示します。



ミニプレイヤー
操作ボタンや音量調節など、音楽を聴くための機能を集約した画面です。 をクリックするとミニプレイヤーに切り替わります。



操作ボタン
再生操作を行います。



停止

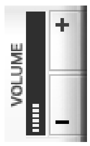
一時停止

再生

次の曲
再生する曲を1つ進めます。

RoomStyleプレイヤー
画面全体に表示されたムービーを楽しみながら音楽を聴くことができます。

頭出し／前の曲
再生中の曲の頭出し、または曲を1つ戻します。



音量を調整します。＋ボタンをクリックすると音量が大きくなり、－ボタンをクリックすると小さくなります。

3 プレイリストに名前をつける



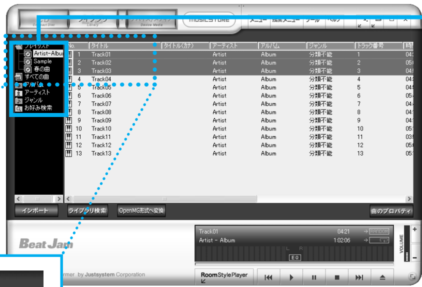


［New Playlist］という新しいプレイリストが追加されます。［New Playlist］の名前は変更できます。
キーボードから、名前を入力してください。

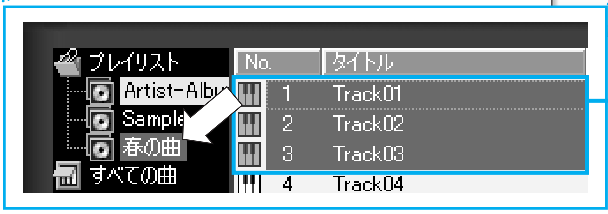


名前が変更されます。
ここでは「春の曲」と入力しました。
プレイリスト名を変更したいときは、プレイリスト上で右クリックし、表示されたメニューの［名前の変更］をクリックしてください。

4 プレイリストに曲を追加する



①新規作成したプレイリストに追加したい曲が入っているプレイリストをクリック
ここでは［Artist-Album］をクリックします。



②追加したい曲を選択し、新しいプレイリスト（［春の曲］）にドラッグアンドドロップ

曲を複数選択したいときは、CTRL キーを押したまま曲をクリックします。

5 プレイリストが完成

新しいプレイリスト（［春の曲］）をクリックして、曲が追加されたことを確認しましょう。





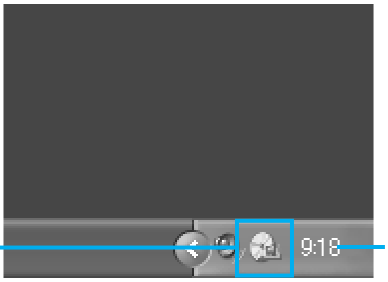
メモ

- 音楽を聴くアプリケーションとして、「Windows Media Player」も用意されています。「Windows Media Player」についての詳細は、『ヘルプとサポート センター』を確認してください。

ドライブの動作音を小さくする

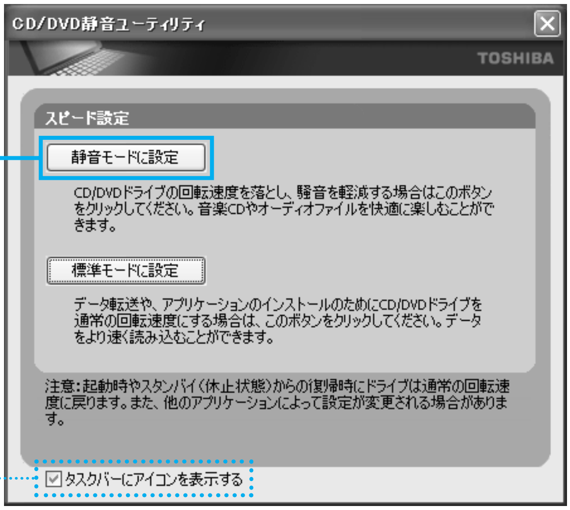
音楽CDを楽しんでいるときに、ドライブの動作音が気になるときは、「CD/DVD静音ユーティリティ」を使ってみましょう。
ドライブの回転速度をおさえ、動作音を小さくします。
＊静音効果は、使用条件や個人の感覚によって異なります。

1 ［CD/DVD静音ユーティリティ］アイコンをダブルクリックする



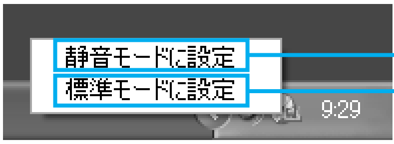
［タスクバーにアイコンを表示する］のチェックをはずすと、通知領域のアイコン（ ）が消えます。
この場合、「CD/DVD静音ユーティリティ」を起動するには、［コントロールパネル］→［パフォーマンスとメンテナンス］→［ CD/DVD静音ユーティリティ］をクリックします。
通知領域にアイコン（ ）をもう1度表示するには、［タスクバーにアイコンを表示する］をチェックしてください。

2 ［静音モードに設定］ボタンをクリックする



画面が閉じて、静音モードに設定されます。
これでドライブの動作音が小さくなります。

通知領域の［CD/DVD静音ユーティリティ］アイコン（ ）を右クリックし、表示されたメニューから、モードを選択することもできます。



メモ

音楽CDを聴き終わった後は、「標準モード」に設定し直してください。「静音モード」に設定しているとCDの読み出し速度が遅くなるため、「標準モード」よりもCDの読み出しに時間がかかります。

「静音モード」に設定しても、次のような場合は、「標準モード」に切り替わります。
・ システムを再起動したとき
・ スタンバイ、休止状態から復帰したとき
・「RecordNow!」でCD/DVDの書き込み／編集を行うとき
・ CD速度を設定するアプリケーションを使用したとき

【「BeatJam」の問い合わせ先】

●ユーザー登録に関するお問い合わせ
ユーザー登録ご相談窓口
受付時間　：平日　10:00〜19:00
　　　　　　土・日・祝日　10:00〜17:00
　　　　　　（特別休業日を除く）
TEL　　　：東京　03-5412-2624
　　　　　　大阪　06-6886-2624
ホームページ：http://www.justsystem.co.jp/service/

●製品の使い方に関するお問い合わせ
ジャストシステムサポートセンター
＊ サポートセンターへお問い合わせの際には、お客様のUser IDおよび製品のシリアルナンバーが必要です。
受付時間　：平日　10:00〜19:00
　　　　　　土・日・祝日　10:00〜17:00
　　　　　　（特別休業日を除く）
TEL　　　：東京　03-5412-3980
　　　　　　大阪　06-6886-7160
ホームページ：http://support.justsystem.co.jp/

オリジナル音楽CDを作る

RecordNow! for TOSHIBA（レコードナウ フォー トウシバ）



オリジナルの音楽CDを作るには、「RecordNow!」を使います。パソコンに音楽CDから曲を取り込んで、好きな曲を1つのCDにまとめることができます。

オリジナル音楽CDを作るには、CD-RW、CD-Rを使います。

お願い　「RecordNow!」を使うために

【CD/DVDに書き込む前に】

CD/DVDに書き込みを行うときは、Windows標準のCD書き込み機能や市販のライティングソフトウェアは、使用しないでください。
CD/DVDに書き込むときは、次の注意をよく読んでから使用してください。守らずに使用すると、書き込みに失敗するおそれがあります。また、ドライブへのショックなど本体異常や、メディアの状態などによっては正常に処理ができず、書き込みに失敗することがあります。

- CD/DVDに書き込むときには、それぞれの書き込み速度に対応したメディアを使用してください。DVD-RW、DVD-R、DVD+RW、DVD+Rに書き込むときには、それぞれの規格に準拠したメディアを使用してください。また、推奨するメーカのメディアを使用してください。

  参照　使用できるメディアについて 『応用にチャレンジ 1章 本体の機能』
- バッテリ駆動で使用中に書き込みを行うと、バッテリの消耗などによって書き込みに失敗するおそれがあります。必ずACアダプタを使用してパソコン本体を電源コンセントに接続してご使用ください。
- 書き込むときは、本製品の省電力機能が働かないようにしてください。また、スタンバイや休止状態を実行しないでください。

  参照　省電力機能について『応用にチャレンジ 4章 バッテリ駆動』
- 次に示すような、ライティングソフトウェア以外のソフトウェアは終了させてください。
  - ・スクリーンセーバ
  - ・ウイルスチェックソフト
  - ・ディスクのアクセスを高速化する常駐型ユーティリティ
  - ・モデムなどの通信アプリケーション など

  ソフトウェアによっては、動作の不安定やデータの破損の原因となります。
- SDメモリカード、PCカードタイプのハードディスクドライブ、USB接続などのハードディスクドライブなど、本製品の内蔵ハードディスク以外の記憶装置にあるデータを書き込むときは、データをいったん本製品の内蔵ハードディスクに保存してから書き込みを行ってください。
- LANを経由する場合は、データをいったん本製品の内蔵ハードディスクに保存してから書き込みを行ってください。
- 本製品に付属している「RecordNow!」を使用してDVD-Video、DVD-Audioを作成することはできません。

【書き込み／編集を行うにあたって】

- タッチパッドを操作する、ウィンドウを開く、ユーザを切り替える、画面の解像度や色数の変更など、パソコン本体の操作を行わないでください。
- パソコン本体に衝撃や振動を与えないでください。
- 書き込み／編集作業中は、次の機器の取り付け／取りはずしを行わないでください。
  PCカード、USB対応機器、外部ディスプレイ、テレビ、i.LINK対応機器、SDメモリカード、メモリースティック、メモリースティックPro、xD-ピクチャーカード™、マルチメディアカード、スマートメディア、光デジタル対応機器、ビデオ入力コネクタに接続する機器
- パソコン本体から携帯電話、および他の無線通信装置を離してください。
- 重要なデータについては、書き込み終了後、必ずデータが正しく書き込まれたことを確認してください。

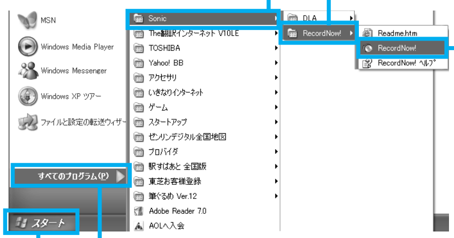
メモ

・作成したCD-RWは、再生機器によっては、再生できないことがあります。

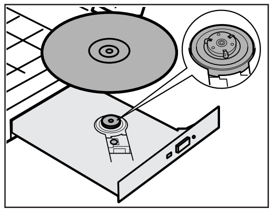
オリジナル音楽CDを作る

ここでは、既成の音楽CDから、曲をいったんパソコンに取り込み、その後CD-Rに書き込んで音楽CDを作る方法を説明します。

1 起動する



2 ドライブに音楽CDをセットする



音楽CDをセットした後に、［Audio CD］画面が表示された場合は、［キャンセル］ボタンをクリックしてください。



準備が終了すると、［書き込む音楽］に選択した曲が表示されます。

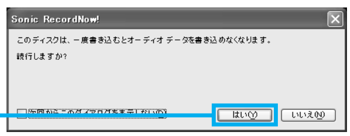
7 ドライブから音楽CDを取り出し、未使用のCD-Rをセットする

8 ［書込み］ボタンをクリックする



> **メモ**
> ・他の音楽CDからも取り込みたい場合は、手順6の後音楽CDを入れ替え、手順5～6を繰り返します。
> ・曲順を入れ替えたい場合には、トラックを選択して移動したい位置へドラッグアンドドロップします。

9 メッセージを確認し、［はい］ボタンをクリックする

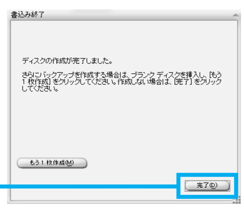


書き込み中は、次の画面が表示されます。



CDの書き込みが終了すると、ドライブからディスクが出てきます。

10 ［完了］ボタンをクリックする

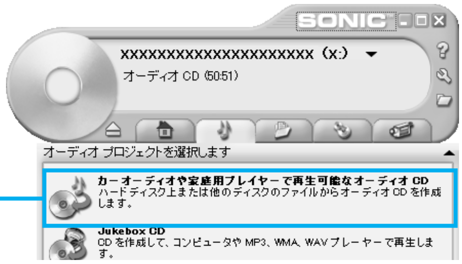


> **メモ**
> さらに同じ内容のCDを作りたい場合は、ドライブに未使用のCD-Rを入れ替えて、［もう1枚作成］ボタンをクリックしてください。

3 ［オーディオ］タブをクリックする



4 ［カーオーディオや家庭用プレイヤーで再生可能なオーディオCD］をクリックする



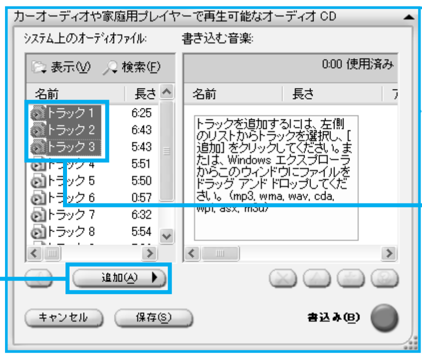
5 ［ドライブ］を選択する



① ［表示］をクリック

② ［ドライブ］をクリック

6 書き込みたい曲（トラック）を選択する

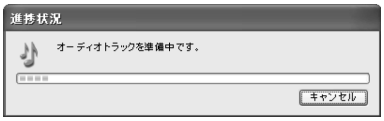




① 曲を選択する

曲は、「トラック」と表示されます。曲を複数選択したい場合は、CTRL キーを押したまま目的の曲をクリックしてください。

② ［追加］ボタンをクリック



選択した曲を、いったんパソコンのハードディスクに取り込みます。取り込みの進捗状態が表示されます。

ヘルプの起動方法

「RecordNow!」についての詳細は、ヘルプを確認してください。起動方法は、次のとおりです。

1 ［スタート］→［すべてのプログラム］→［Sonic］→［RecordNow!］→［RecordNow!ヘルプ］をクリックする

【「RecordNow!」「DLA」の問い合わせ先】

ソニック・サポートセンター

受付時間　：10:00〜12:00、13:00〜17:00（土・日・祝祭日・年末年始・特別行事日を除く）

TEL　：03-5232-6400

お問い合わせは、ソニック・ソルーションズのサポートページのメールサポートフォームより質問内容をお送りください。

ホームページ：http://www.sonicjapan.co.jp/support/index.html

データCD／DVDを作る

RecordNow! for TOSHIBA（レコードナウ フォー トウシバ）



パソコンに取り込んで編集した画像など、容量の大きいデータをCD/DVDに書き込むには、「RecordNow!」を使います。「FinePixViewer Lite」で編集した画像をCD/DVDに書き込んで知り合いに配ったりするのにも便利です。

参照 FinePixViewer Liteについて P16「デジタルカメラの写真を編集する」

データCD／DVDを作る

ここでは、パソコンに保存されているデータをCD-R/DVD-Rに書き込んで、データCD／DVDを作る方法を説明します。

1 あらかじめ書き込みたいデータを用意しておく

メモ

CD-R、CD-RWなどにデータを書き込んだ場合、データを保護するために「読み取り専用」になっていて、記録ができない場合があります。データを使うときには、1度ハードディスクドライブなどにコピーしてからそのデータを右クリック→［プロパティ］で、［読み取り専用］のチェックをはずしてください。

2 起動する



お願い　データCD／DVDを作るにあたって

＊データCD／DVDを作るには、下記以外にもお願い事項があります。P7「オリジナル音楽CDを作る-「RecordNow!」を使うために」と合わせてご覧ください。使用できるメディアについては、『困ったときは 2章 3 CD/DVDにデータのバックアップをとる』の「RecordNow!」に当てはまる部分をご覧ください。

【書き込む前に】

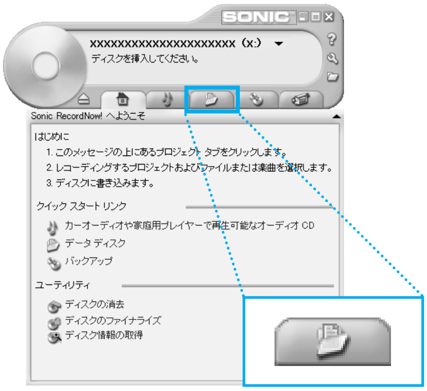
- 「RecordNow!」を使用してDVD-RAMにデータを書き込むことはできません。
- DVD-R、DVD+Rにデータを追記した場合、そのDVD-R、DVD+Rを他のパソコンやドライブで読もうとしたとき、OSやドライブの制限により、記録されているすべての内容を読み出せないことがあります。Windows 98SE*1、Windows Me*2などの16ビット系OSではDVD-R、DVD+Rメディアに追記されたデータを読むことはできません。Windows NT4.0*3ではService Pack 6以降、Windows 2000*4ではService Pack 2以降が必要です。また、DVD-ROMドライブ、DVD-ROM&CD-R/RWドライブの種類によっては追記したデータを読むことができないものがあります。

【書き込み／削除を行うにあたって】

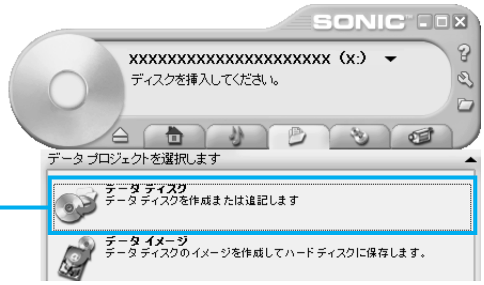
- 「RecordNow!」で、重要なデータを書き込む場合は、次の設定を行ってください。正常に書き込まれていることを確認できます。
  ①「RecordNow!」を起動し、画面右上の［オプション］ボタン（　）をクリックする
  　［オプション］画面が表示されます。
  ②画面左側の一覧の［データ］をクリックする
  ③［データオプション］の［書込み後、ディスクに書き込まれたデータをベリファイする］をチェックする
  ④［OK］ボタンをクリックする

＊1 Microsoft® Windows® 98 SECOND EDITION operating system日本語版を示します。
＊2 Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system日本語版を示します。
＊3 Microsoft® Windows NT® Workstation4.0 operating system日本語版を示します。
＊4 Microsoft® Windows® 2000 Professional operating system日本語版を示します。

3 ［データプロジェクト］タブをクリックする



4 ［データディスク］をクリックする

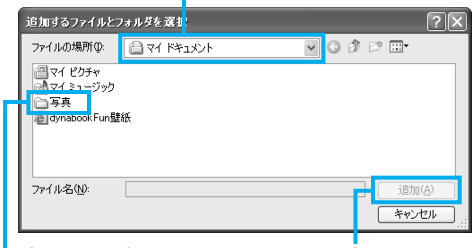


5 ［フォルダとファイルを追加］をクリックする



6 書き込みたいフォルダやファイルを指定する

①フォルダやファイルの場所を選択



②フォルダやファイルを選択　③［追加］をクリック



選択したフォルダやファイルが表示されます。

7 未使用のDVD-R、CD-Rをドライブにセットする

8 ［書込み］ボタンをクリックする

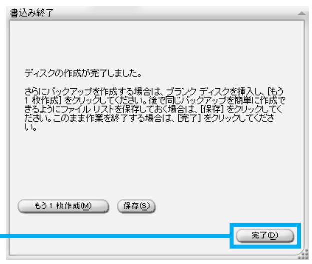


書き込み中は、次の画面が表示されます。



CD/DVDへの書き込みが終了すると、ドライブからディスクが出てきます。

9 ［完了］ボタンをクリックする



メモ

「RecordNow!」の問い合わせ先については、P9を参照してください。

データをCD／DVDにコピーする

ディーエルエー フォー トウシバ
DLA for TOSHIBA

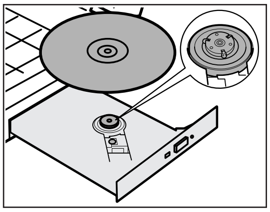


1枚のCD/DVDに繰り返しデータを書き込みたい場合は、「DLA」を使います。書き込み方法も簡単なので、頻繁にデータを保存したいときに便利です。「DLA」で使用できるメディアは**DVD-RW、DVD+RW、CD-RW**のみです。ご使用のモデルと使用できるメディアについての詳細は、『困ったときは 2章 3 CD／DVDにデータのバックアップをとる』をご覧ください。

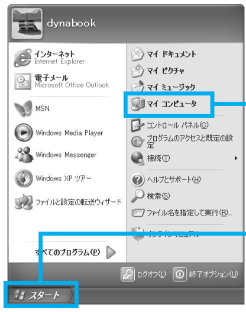
CD／DVDをフォーマットする

初めて「DLA」で使用するCD/DVDは、使用前にフォーマットが必要です。次の手順でフォーマットを行ってください。

1 ドライブにフォーマットしたいCD/DVDをセットする



2 [マイ コンピュータ] を表示する



お願い 「DLA」を使うために

＊「DLA」を使うには、下記以外にもお願い事項があります。『困ったときは 2章 3 CD／DVDにデータのバックアップをとる』と合わせてご覧ください。

● Windows標準のCD書き込み機能や市販のライティングソフトウェアは使用しないでください。
● CD/DVDをフォーマットすると、CD/DVD上のすべてのデータが失われます。内容を確認のうえ、フォーマットしてください。
●「DLA」はパケットライト形式での記録機能を備えたソフトです。「DLA」でフォーマット／書き込みしたメディアを他のパケットライトソフトでは使用しないでください。
また、他のパケットライトソフトでフォーマット／書き込みしたメディアに、「DLA」で書き込みは行わないでください。他のパケットライトソフトでフォーマットしたメディアを「DLA」で使用する場合は、「DLA」で完全フォーマットを行ってから使用してください。
● ファイルやフォルダの「切り取り」→「貼り付け」は行わないでください。メディアやドライブに何らかの問題があった場合、もとのファイルやフォルダが消失することがあります。
●「DLA」で書き込んだメディアを「DLA」がインストールされていないパソコンで読み出すには、メディアに「互換化」が必要です。詳しくは「DLA」のヘルプをご覧ください。
●「DLA」でフォーマットされたメディア上にプログラムのセットアップファイルなどを保存し、そのメディア上からセットアップを実行しようとしたとき、エラーが発生することがあります。その場合は、セットアップに必要なファイルなどをいったんハードディスク上にコピーした状態で、ハードディスク上からセットアップを実行してください。

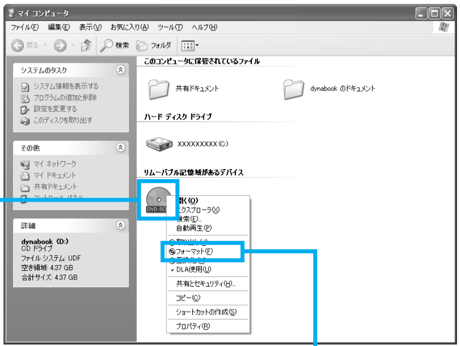
ヘルプの起動方法

「DLA」についての詳細は、ヘルプを確認してください。起動方法は、次のとおりです。

1 [スタート] → [すべてのプログラム] → [Sonic] → [DLA] → [DLAヘルプ] をクリックする

3 ［フォーマット］を選択する

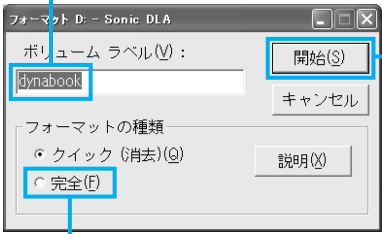
① CD/DVDドライブのアイコンを右クリック



② ［フォーマット］をクリック

4 フォーマットを実行する

① ボリュームラベル名を入力
ここでは「dynabook」と入力します。

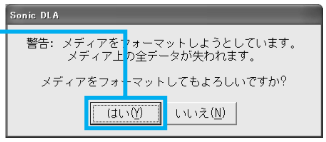


③ ［開始］をクリック

② ［完全］をクリック

「DLA」で初めてフォーマットするCD/DVDの場合は、［完全］を、2回目以降の場合は［クイック（消去）］を選択します。

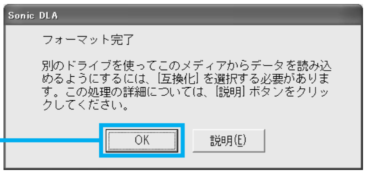
5 メッセージを確認し、［はい］ボタンをクリックする





フォーマットの進行状況が表示されます。

6 ［OK］ボタンをクリックする



フォーマットが完了しました。

データをCD／DVDに書き込む

「DLA」でフォーマットしたCD/DVDにデータを書き込む方法を説明します。「DLA」では1枚のCD/DVDに繰り返し書き込むことができます。あらかじめ書き込みたいデータを準備し、ドライブにCD/DVDをセットしておいてください。

1 書き込みたいデータを表示する

ここでは、［マイドキュメント］に保存している「文書1」を表示します。

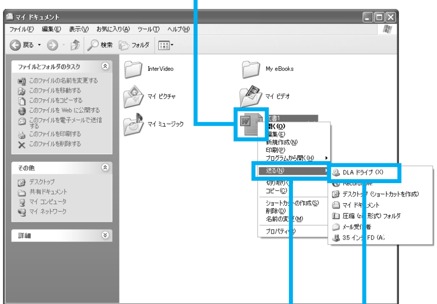


② ［マイ ドキュメント］をクリック

① ［スタート］をクリック

2 データをドライブにコピーする

① ［文書1］を右クリック



② ［送る］をクリック

③ ［DLAドライブ］をクリック

データが書き込まれます。

・データをCD/DVDのドライブにドラッグアンドドロップして、CD/DVDに書き込むこともできます。

メモ

「DLA」の問い合わせは、ソニック・サポートセンターへお願いいたします。詳細は、P9を確認してください。

DVDの映画や映像を観る

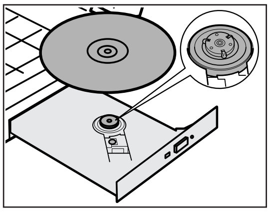
InterVideo WinDVD™ 5 for TOSHIBA

DVDの映画や映像を観るには、「InterVideo WinDVD」を使います。本製品では、DVD-Videoの再生ができます。

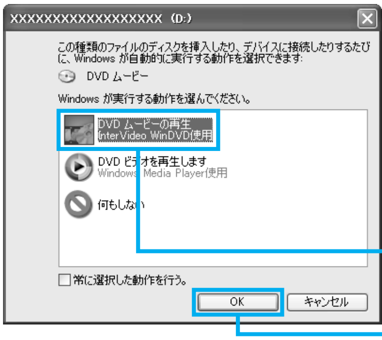
DVDを観る

ここでは、DVDの映像を観る方法を説明します。

1 ドライブにDVDをセットする



2 起動するアプリケーションを選択する



① [DVDムービーの再生 InterVideo WinDVD使用] をクリック

② [OK] ボタンをクリック

「InterVideo WinDVD」が起動しなかった場合は、[スタート] → [すべてのプログラム] → [InterVideo WinDVD] → [InterVideo WinDVD] をクリックしてください。

お願い　DVD-Videoの再生にあたって

- DVD-Videoの再生には、「InterVideo WinDVD」を使用してください。「Windows Media Player」やその他市販ソフトを使用してDVD-Videoを再生すると、表示が乱れたり、再生できないことがあります。
- DVD-Video再生ソフト「InterVideo WinDVD」は、Video CD、Audio CD、MP3の再生はサポートしていません。
- DVD-Video再生時は、なるべくACアダプタを接続してください。省電力機能が働くと、スムーズな再生ができないことがあります。バッテリ駆動で再生するときは「東芝省電力」で「DVD再生」プロファイルに設定してください。
- DVD-Videoを再生する前に、他のアプリケーションを終了させてください。また、再生中には他のアプリケーションを起動させたり、不要な操作は行わないでください。
  再生中に、常駐しているプログラムの画面やアイコンなどがちらつくときは、「InterVideo WinDVD」を最大表示にしてください。
- DVD-Videoの再生はRegionコード「2」、「ALL」のものをご使用ください。
- 外部ディスプレイまたはテレビに表示するときは、再生する前にあらかじめ表示装置を切り替えてください。また、マルチモニタ（本体液晶ディスプレイと外部ディスプレイまたはテレビの同時表示）の設定では、外部ディスプレイまたはテレビに表示するための設定が必要です。
  本体液晶ディスプレイと外部ディスプレイにClone表示をしているときDVD-Videoを再生すると、画像がコマ落ちすることがあります。この場合は表示解像度を下げるか、本体液晶ディスプレイまたは外部ディスプレイのみに表示するか、拡張表示に設定してください。
  参照 表示装置の切り替え『応用にチャレンジ 3章 周辺機器の接続』

その他の注意については、「Readme」に記載しています。
「Readme」の起動は、[スタート] → [すべてのプログラム] → [InterVideoWinDVD] → [readme1st.txt] をクリックしてください。

3 「InterVideo WinDVD」が起動する

メインウィンドウ



WinDVDコントロールパネル

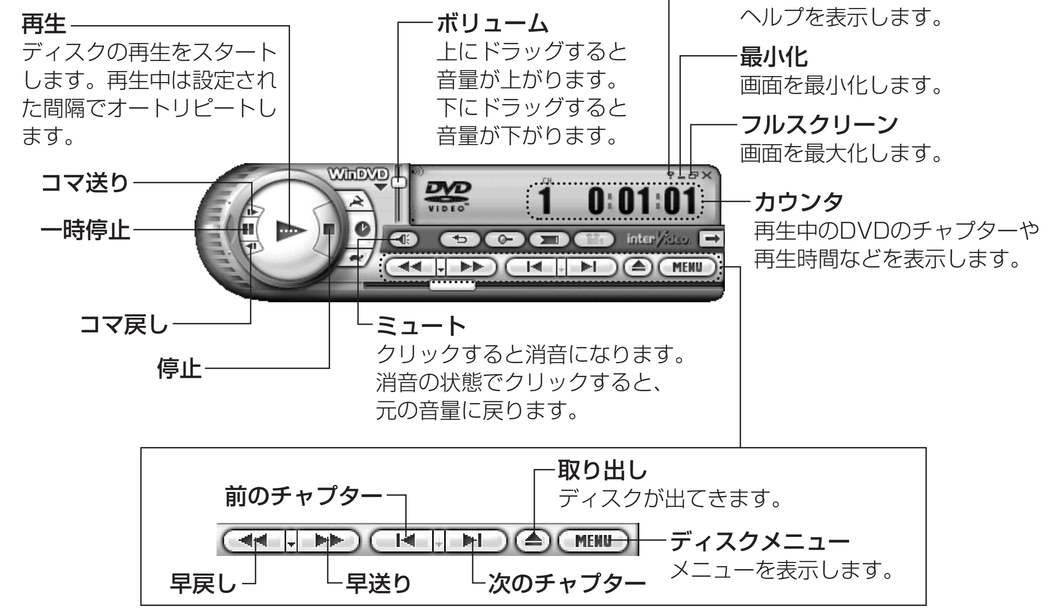


メインウィンドウとWinDVDコントロールパネルが表示されるので、操作ボタンを使ってDVDの映像（DVD-Video）を観ましょう。

メモ

・本製品で再生できるのは、DVD-Videoです。Video CDとは異なります。DVDが入っていたパッケージやDVDの盤面に「DVD-Video」と記載されていることを確認してください。

操作ボタン



再生するDVD-Videoによっては、表示が一部異なる場合があります。また、操作ボタンの一部は、機能対応している場合のみ表示できます。

【「InterVideo WinDVD」の問い合わせ先】

東芝（東芝PCダイヤル）

全国共通電話番号 ：0120-97-1048＊
（通話料・サポート料無料）

受付時間 ：9:00～19:00（年中無休）

＊ 2005年9月13日（火）から新番号となります。2005年9月12日（月）までは0570-00-3100にお問い合わせください。

システムメンテナンスのため、サポートを休止させていただく場合がございます。
海外からの電話、携帯電話などで、左記電話番号に接続できないお客様は、043-298-8780までご連絡ください。

デジタルカメラの写真を編集する

ファイン ピックス ビューワ　ライト　フォー　トウシバ
FinePixViewer Lite for TOSHIBA

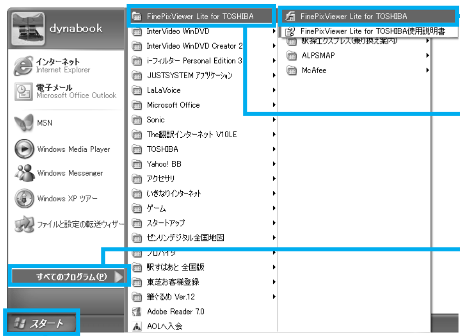


デジタルカメラで撮った写真などの画像を編集するには、「FinePixViewer Lite」を使います。文字を書き込むなどの編集操作を簡単に行うことができます。

写真を編集する

ここでは、デジタルカメラで撮った写真などの画像をパソコンにファイルとして取り込んだ状態で、編集をする場合について説明します。デジタルカメラからパソコンへの取り込みかたは、接続するデジタルカメラによって異なります。詳しくは、『デジタルカメラに付属の説明書』を確認してください。

1 起動する



① ［スタート］をクリック

② ［すべてのプログラム］をクリック

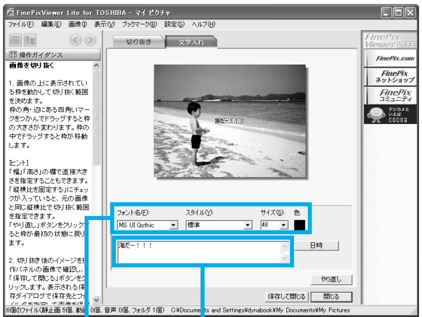
③ ［FinePixViewer Lite for TOSHIBA］をクリック

④ ［FinePixViewer Lite for TOSHIBA］をクリック

【初めて起動したとき】

［ソフトウェア使用許諾契約］画面が表示されます。使用許諾契約に同意のうえ、［同意します］ボタンをクリックしてください。

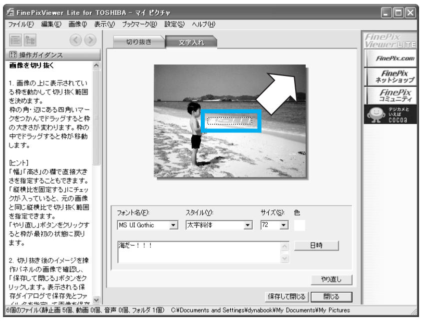
5 文字を入力する



① クリックして文字を入力

② フォント、色などを指定

6 文字を囲んでいる枠をドラッグして、位置を調整する



7 編集が完了する



画像に文字が追加されました。

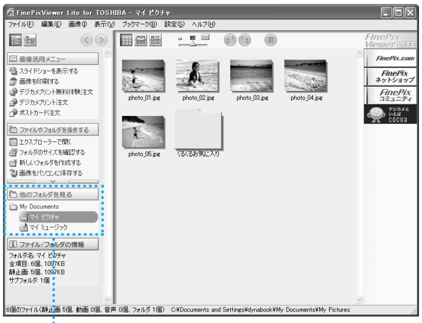
メモ

「FinePixViewer Lite」では、次のような画像の編集もできます。

- 画像の切り抜き　：画像を切り抜きます。
- 画像の向きを変える　：画像の向きを変更できます。
- 画質を調整する　：明るさや色合いなどを調整したり、セピア／白黒、くっきり／ぼかしの加工ができます。
- 赤目を修正する　：フラッシュなどで赤目になっている画像を修正します。
- 画像サイズを変更する　：画像のサイズを変更できます。

2 編集したい画像を表示する

初期状態では、［マイ ドキュメント］の［マイ ピクチャ］に保存されている画像を表示します。

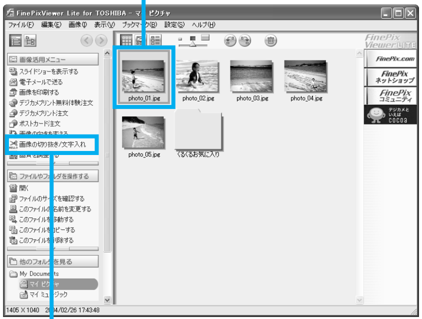


他のフォルダに保存している画像を表示したい場合は、［他のフォルダを見る］欄で場所を指定してください。

3 画像を編集する

ここでは、画像に文字を追加します。

①編集したい画像をクリック



②［画像の切り抜き／文字入れ］をクリック

画面中央の作業領域に、画像が表示されます。



4 ［文字入れ］タブをクリックする



メモ

「FinePixViewer Lite」では、他にも次のようなことができます。

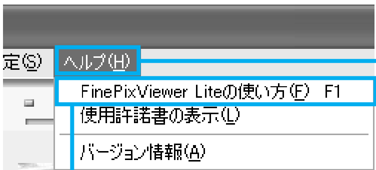
・デジタルカメラの画像をパソコンに取り込む
・画像を印刷する
・スライドショーを行う
・インターネットを使ってデジカメプリントを注文する

など

詳細は、ヘルプを確認してください。

ヘルプの起動方法

「FinePixViewer Lite」についての詳細は、ヘルプを確認してください。起動方法は、次のとおりです。



①メニューバーの［ヘルプ］をクリック

②［FinePixViewer Liteの使い方］をクリック

【「FinePixViewer Lite」の問い合わせ先】

東芝（東芝PCダイヤル）

ナビダイヤル：0570-00-3100（サポート料無料）
受付時間　　：9:00～19:00（年中無休）
システムメンテナンスのため、サポートを休止させていただく場合がございます。

お客様からの電話は全国6箇所（千葉市、大阪市、名古屋市、福岡市、仙台市、札幌市）の最寄りの拠点に自動的に接続されます。
拠点までの電話料金は有料となります。また海外からの電話、携帯電話などで左記電話番号に接続できないお客様は、043-298-8780までご連絡ください。

映像を編集してDVDに残す

インタービデオ ウィンディーブイディー クリエイター ツー プラチナム フォー トウシバ
InterVideo WinDVD™ Creator 2 Platinum for TOSHIBA



映像を編集してDVDに残すには、「WinDVD Creator」を使います。デジタルビデオカメラで撮影した映像をパソコンで編集し、DVDに残すことができます。

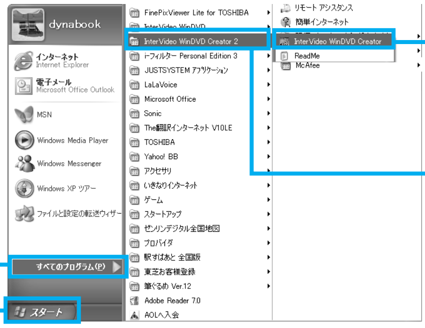
映像ファイルをDVDにする

ここでは、あらかじめファイルにしておいたビデオ映像などをDVDに書き込む方法を説明します。

1 DVDにする映像ファイルを用意する

あらかじめ映像ファイルを用意しておきます。デジタルビデオカメラの映像を編集したい場合は、P26「デジタルビデオカメラで撮影した映像をDVDにする」を確認してください。

2 起動する



お願い 「WinDVD Creator」の使用にあたって

- 「WinDVD Creator」はコンピュータ管理者のユーザで使用してください。
- 本製品にインストールされている「Windows Movie Maker 2」やその他の映像データを取り込むソフトウェアは使用しないでください。
- 「InterVideo WinDVD」などの映像を再生するアプリケーションが動作していると、編集中のプレビューが正しく表示されないことがあります。編集中は他のアプリケーションを終了してください。
- 編集中のプレビューは本体液晶ディスプレイにのみ表示されます。外部ディスプレイには表示されません。
- 著作権保護された映像が保存されているDVDの映像の編集は行えません。
- 著作権保護されているコンテンツは再生できません。
- 「WinDVD Creator」の動作中は、画像の解像度・色数の変更は行わないでください。
- バッテリ駆動で使用中に映像データの取り込みを行うと、バッテリの消耗などによって取り込みに失敗するおそれがあります。必ずACアダプタを使用してパソコン本体を電源コンセントに接続してご使用ください。

メモ

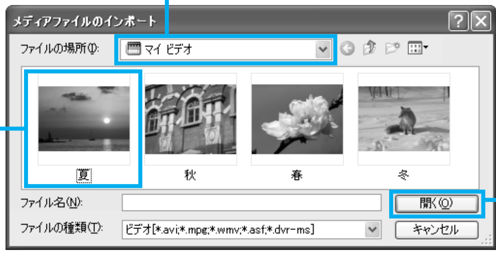
プロジェクトモードでのDVDの書き込みにおいて、サポートしているメディアは、次のとおりです。
・ DVD-RAM、DVD-RW、DVD-R、DVD+RW、DVD+R、DVD+R DL
これらのメディアは、DVD-Videoフォーマットにて書き込むことができます。

3 ［作成済みのビデオファイルをCD/DVDに作成］のボタンをクリックする



4 使用するファイルを選択する

① ファイルの保存場所を指定



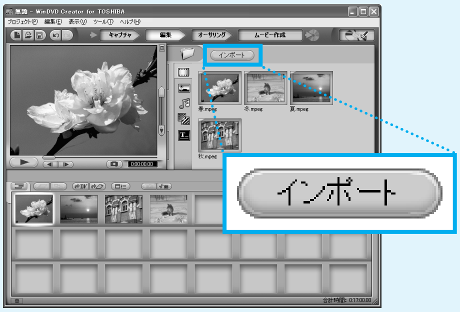
② ファイルを選択
複数選択したいときは、
CTRL キーを押したまま、
ファイルをクリックします。

③［開く］ボタン
をクリック

＊再生時間が24時間以上ある映像ファイルを取り込むことはできません。

メモ

映像ファイルの取り込みは、編集を行っている最中にも行えます。

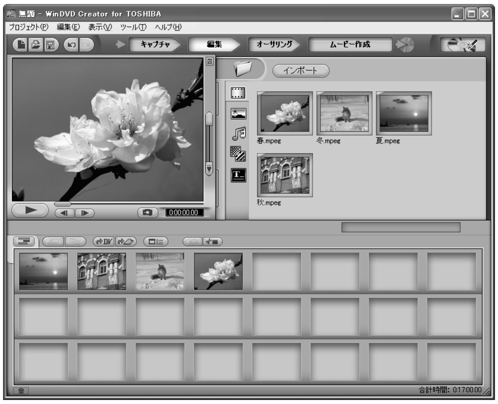


①［インポート］をクリック



② ファイルを選択（本ページ手順4同様）

5 映像ファイルが取り込まれる



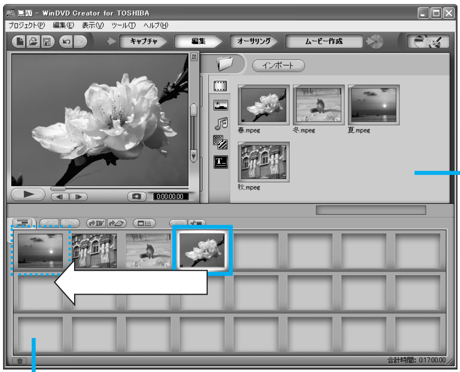
映像ファイルが取り込まれ、編集画面が表示されました。
以降、取り込まれた映像のことを「クリップ」と呼びます。

次は、編集を行います。

次のページへ

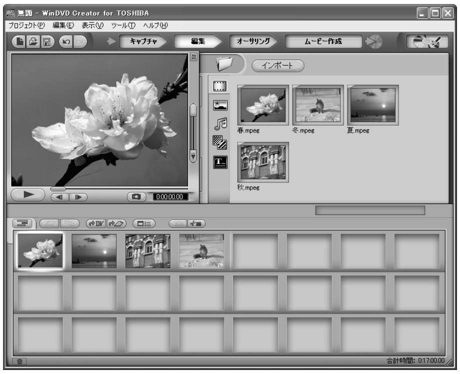
6 クリップを並び替える

ストーリーボードに表示されたクリップをドラッグアンドドロップして、書き込みたい順番に並び替えます。



メディアライブラリー
取り込んだ映像を表示します。

ストーリーボード
ここに並べた順に、DVDに書き込まれます。

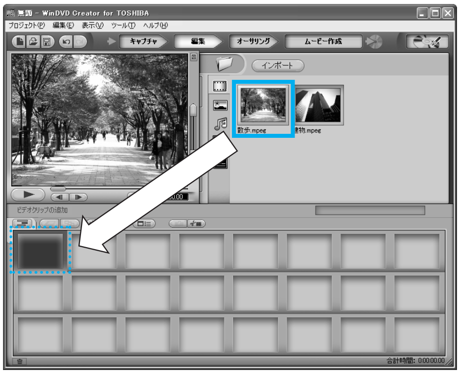


クリップが並び替えられました。

メモ

編集は、取り込んだ映像の録画時間により、時間がかかることがあります。

P26「デジタルビデオカメラで撮影した映像をDVDにする」で、デジタルビデオカメラから直接映像を取り込んだ場合は、クリップがストーリーボードに表示されていません。メディアライブラリーに表示されているクリップを、ストーリーボードにドラッグアンドドロップしてください。



① クリップをストーリーボードにドラッグアンドドロップする



クリップがストーリーボードに並べられました。必要なクリップを順次ストーリーボードにドラッグアンドドロップしてください。

メモ

編集やDVDメニューを作る操作では、ここで説明している内容以外にも、次のような加工ができます。
- 編集の画面では映像（動画）だけでなく、画像（静止画）や音楽を追加することもできます。また、タイトルやトランジション エフェクトをクリップにかけることもできます。
- オーサリングの画面では、DVDメニューの背景画像を替えたり、文字の入力やボタンを変更することができます。

これらについての詳細は、「InterVideo WinDVD Creator」のヘルプを確認してください。

7 [オーサリング] をクリックする



次にオーサリングを行います。
オーサリングとは、DVDメニュー（タイトル画面）を作成する機能です。
ここではDVDメニューを付けてみましょう。

プレビュー画面
ここに表示されている画像がDVDメニューの画面になります。



オーサリングの画面に切り替わりました。
ここでは、あらかじめ用意されているDVDメニューを使います。

8 [オーサリングプレビュー] ボタンをクリックする

DVDメニューの動作を確認することができます。



9 プレビュー画面で動作を確認する



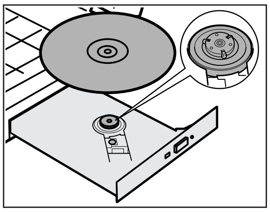
作ったDVDメニューを確認できる画面に切り替わりました。確認の操作は、画面右のリモコンを使います。
この画面を閉じるときは、⏻ ボタンをクリックしてください。

これで、切り出した映像を1つにまとめ、DVDメニューを作ることができました。

次はDVDに書き込みます。
＊ハードディスクに書き出すこともできます。

次のページへ

10 ドライブにDVDをセットする



ここでは、DVDディスクに直接書き込む方法を説明します。ハードディスクに書き出す場合は、手順10の作業を行う必要はありません。

11 ［ムービー作成］をクリックする



お願い　DVDへの書き込み／ハードディスクへの書き出しについて

【DVDへの書き込み／ハードディスクへの書き出しを行うにあたって】

● バッテリ駆動で使用中に書き込みを行うと、バッテリの消耗などによって書き込みに失敗するおそれがあります。必ずACアダプタを使用してパソコン本体を電源コンセントに接続してご使用ください。

● 書き込みを行うときは、本製品の省電力機能が働かないようにしてください。また、スタンバイや休止状態を実行しないでください。

参照 省電力の設定について『応用にチャレンジ 4章 バッテリ駆動』

● 次に示すような、ライティングソフトウェア以外のソフトウェアは終了させてください。
・スクリーンセーバ　・ディスクのアクセスを高速化する常駐型ユーティリティ
・ウイルスチェックソフト　・モデムなどの通信アプリケーション　など
ソフトウェアによっては動作の不安定やデータの破損の原因となるので、使用しないことを推奨します。

● タッチパッドを操作する、ウィンドウを開く、ユーザを切り替える、画面の解像度や色数の変更など、パソコン本体の操作は行わないでください。

● 次の機器の取り付け／取りはずしを行わないでください。
PCカード、USB対応機器、外部ディスプレイ、テレビ、i.LINK対応機器、SDメモリカード、メモリースティック、メモリースティックPro、xD-ピクチャーカード™、マルチメディアカード、スマートメディア、光デジタル対応機器、ビデオ入力コネクタに接続する機器

● パソコン本体から、携帯電話および他の無線通信装置を離してください。

【作成したDVDについて】

● 作成したDVDは、一部の家庭用DVDビデオレコーダやパソコンでは再生できないこともあります。また、作成したDVD+R DLメディアを再生するときは、DVD+R DLメディアの読み取りに対応している機器を使用してください。

● 作成したDVDを本製品で再生するときは、「InterVideo WinDVD」を使用してください。「Windows Media Player」やその他の市販ソフトを使用して再生すると、表示が乱れたり、再生できない場合があります。

【映像データをDVDに書き込む前に】

● DVDに書き込みを行うときには、それぞれの規格に準拠したメディアを使用してください。また、推奨するメーカのメディアを使用してください。なお、再生する機器に応じて、その機器の取扱説明書でも推奨されるメディアを使用してください。
守らずに使用すると、書き込みに失敗するおそれがあります。また、ドライブへのショックなど本体異常や、メディアの状態などによっては処理が正常に行えず、書き込みに失敗することがあります。

● 本製品に付属の「WinDVD Creator」以外の映像データライティングソフトウェアは動作保証していません。

【「WinDVD Creator」のムービー作成について】

● ムービー作成では－VRフォーマット、＋VRフォーマットでの書き込みはできません。

● DVD-AudioやVideo CD、miniDVDを作成することはできません。

● DVD-RAMにDVD-Videoフォーマットで記録できますが、作成されたメディアは本製品にインストールされている「InterVideo WinDVD」でのみ再生可能となります。

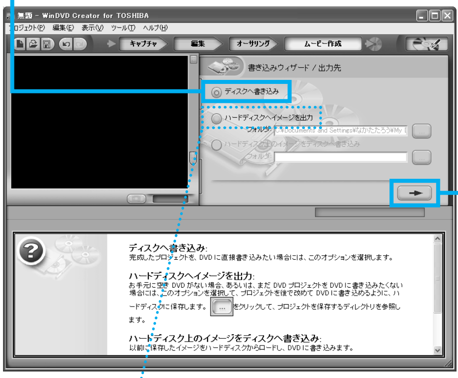
● DVDへ書き込みを行うには、映像データのサイズの約2.5倍以上の空き容量がハードディスクに必要です。あらかじめハードディスクの空き容量を確認してください。使用する映像ファイルや編集のしかたによって、必要な空き容量が異なります。

● DVDに映像データを書き込む場合、映像データの大きさや編集のしかたによってはデータの変換に数時間かかることがあります。

12 出力先を設定する

①［ディスクへ書き込み］をチェックする

② ➡ をクリック



ハードディスクに書き出す場合は、［ハードディスクへイメージを出力］をチェックし、［フォルダ］欄で書き出す場所を指定してください。

13 ➡ をクリックする

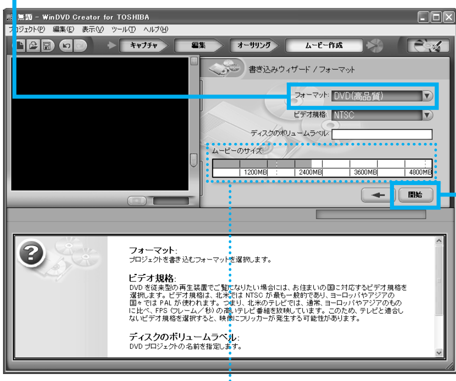


14 フォーマット（画質）を選択し、［開始］ボタンをクリックする

① フォーマットを選択

通常は［DVD（高品質）］を選択してください。

②［開始］ボタンをクリック



［ムービーのサイズ］のメーターがDVDの容量を超えている場合は、P24「映像ファイルを2つに分けて別々のDVDにする」を参考にして、映像ファイルを2枚のDVDにするか、いらない部分を削除してください。

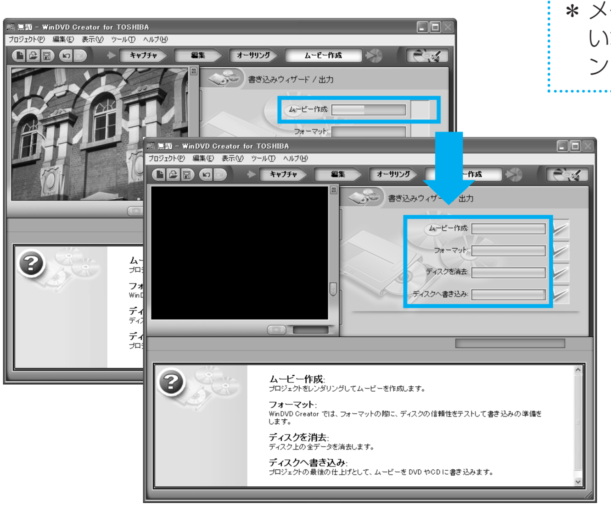
＊ メーターはあくまで目安です。メーターを超えていない場合でも、DVDの容量を超えて「オーサリングエラー」が表示されることがあります。

すでにデータが書き込まれているDVD-RAM、DVD-RW、DVD+RWをドライブにセットした場合は、次のようなメッセージが表示されます。



データを削除して、DVDに書き込んでもよい場合は、［OK］ボタンをクリックしてください。

15 映像の書き込みが始まる



16 書き込みが終了し、［OK］ボタンをクリックする



書き込みが終了するとドライブからディスクが出てきます。

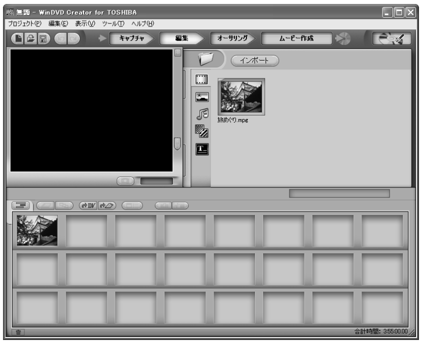
映像ファイルを2つに分けて別々のDVDにする

「WinDVD Creator」で録画した映像ファイルはDVD1枚あたり、プロファイルの［DVD HQ］で1時間弱、［DVD SP］で2時間弱、収録できます。長い時間録画した映像ファイルがDVDの容量を超えていると、1枚のDVDに収まりません。2枚のDVDに収まるように映像ファイルを切り分けます。
ここでは「WinDVD Creator」の「プロファイル」の［DVD SP］で録画した4時間弱の映像ファイルを半分に分け、2枚のDVDにする操作を説明します。

＊ DVD1枚とは4.7GB1層のDVDメディアを指しています。DVD-RAMで両面あるメディアの場合は、片面ずつ映像を書き込むことができます。
＊ 4.7GBのDVDメディアに書き込める映像データは4.0GB（DVD+R DLメディア（8.5GB）の場合、7.0GB）です。

1 ビデオファイル（TV番組やビデオ映像のファイルなど）を取り込む

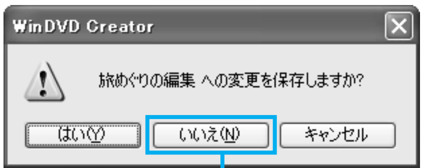
P18～P19「映像ファイルをDVDにする」の手順1～4と同じ操作です。



映像ファイルが取り込まれました。

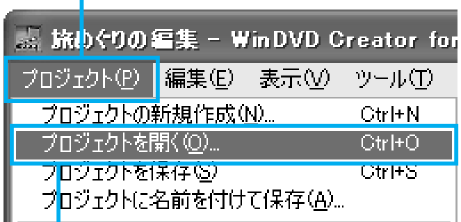
4 後半（2つ目）のクリップをクリックし、DEL キーを押す



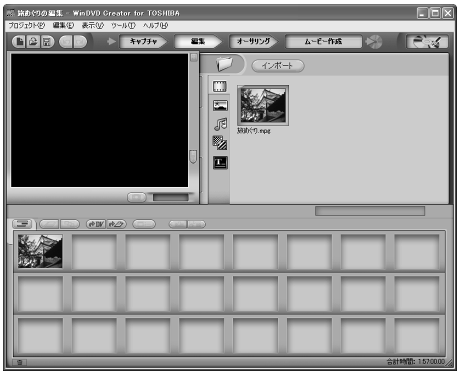


③［いいえ］をクリック

④［プロジェクト］をクリック



⑤［プロジェクトを開く］をクリック

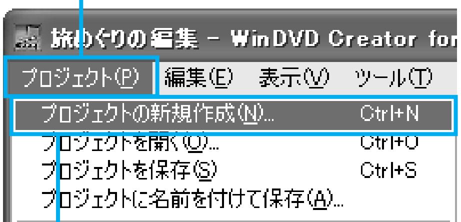


クリップの前半部分が残ります。これをDVD（1枚目）にします。P21～P23「映像ファイルをDVDにする」手順7～手順16と同じ操作です。

映像ファイルの後半部分をDVDにします。

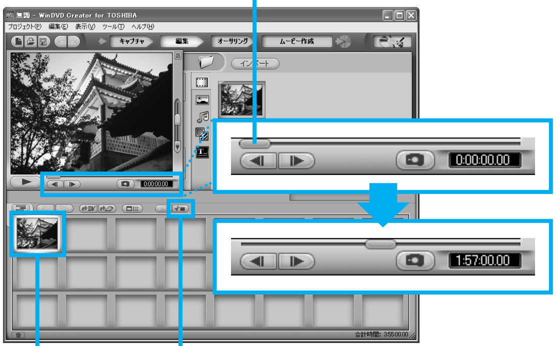
5 手順3で保存したファイルを開く

①［プロジェクト］をクリック



②［プロジェクトの新規作成］をクリック

2 半分の長さでビデオファイルを分ける



メモ

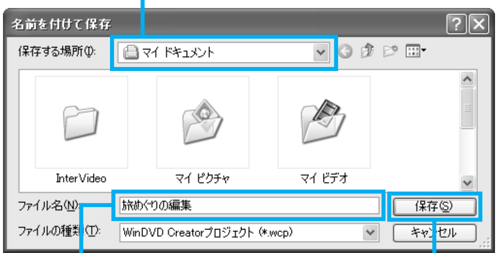
ストーリーボード上のクリップをダブルクリックすると、クリップの時間を調整するトリミングメニュー画面が表示されます。

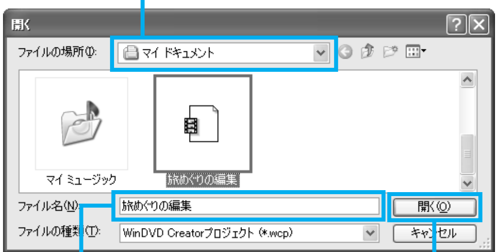


クリップが2つに分かれました。

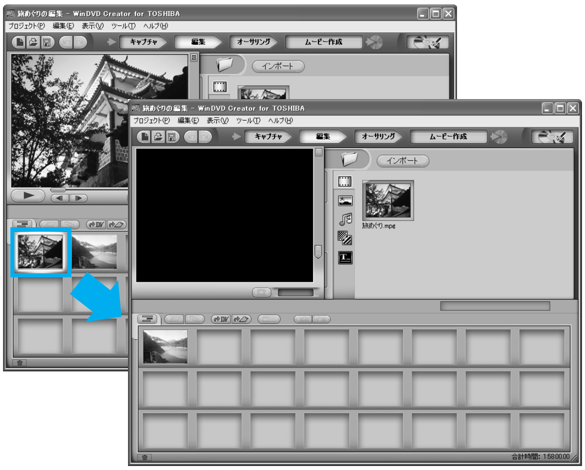
3 ファイルに保存する







6 前半（1つ目）のクリップをクリックし、DEL キーを押す

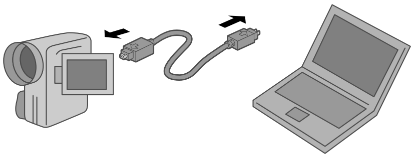


クリップの後半部分が残ります。これをDVD（2枚目）にします。P21～P23「映像ファイルをDVDにする」手順7～手順16と同じ操作です。

デジタルビデオカメラで撮影した映像をDVDにする

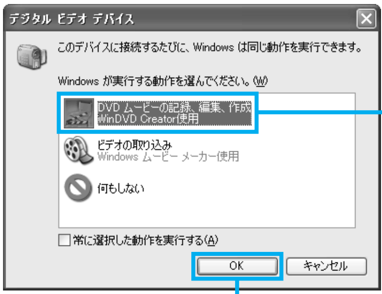
ここでは、デジタルビデオカメラで撮影した映像をパソコンに取り込んで、DVDにする方法を説明します。

1 デジタルビデオカメラをパソコンに接続し、電源を入れる



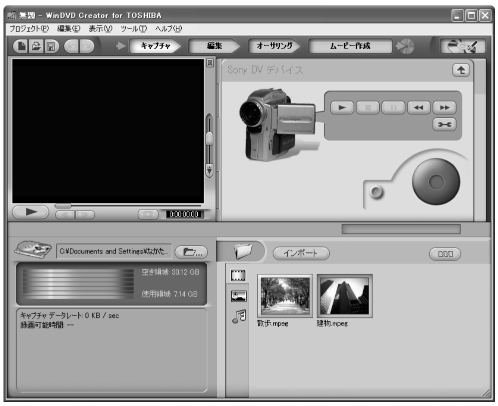
デジタルビデオカメラの接続と電源の入れかたは、『デジタルビデオカメラに付属の説明書』を確認してください。

2 動作を指定する



4 別のカット（映像）を切り出したい場合は、手順3をくり返す

ここでは、全部で2つのカットを取り込みます。



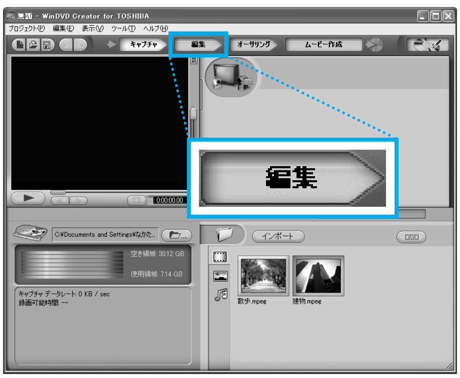
複数のテープから映像を取り込みたい場合は、テープを入れ替えて手順3をくり返してください。

[インポート] をクリックすると、あらかじめパソコンに保存されている映像ファイルを取り込むことができます。詳細は、P18「映像ファイルをDVDにする」を確認してください。

5 デジタルビデオカメラの電源を切り、パソコンと接続しているケーブルを取りはずす

デジタルビデオカメラの電源の切りかたと接続ケーブルの取りはずしかたは、『デジタルビデオカメラに付属の説明書』を確認してください。

6 [編集] をクリックする



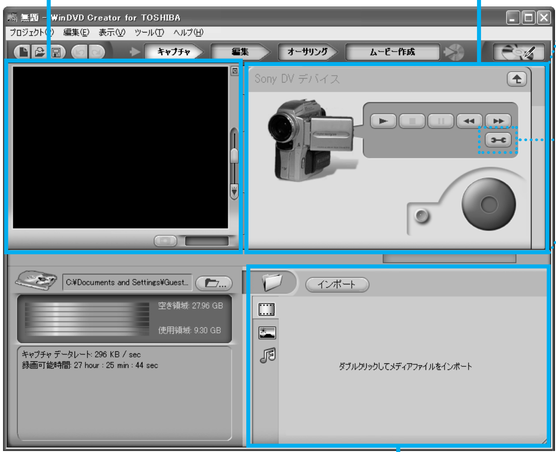
編集の画面に切り替わります。
以降の操作は、P20「映像ファイルをDVDにする」の手順6に進んでください。

3 編集したい部分を切り出して取り込む

「WinDVD Creator」が起動します。

コントロール画面
映像の再生や停止、録画などを操作する画面です。

プレビューウィンドウ
再生中の映像を表示します。

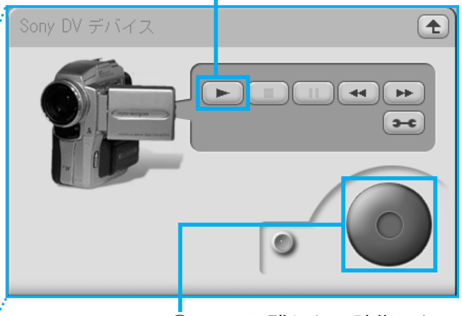


メディアライブラリー
編集に使うファイルを管理します。取り込んだ映像は、ここに表示されます。

ボタンをクリックすると映像ファイルの録画品質を設定する画面が表示されます。
フォーマットとプロファイルで選択してください。

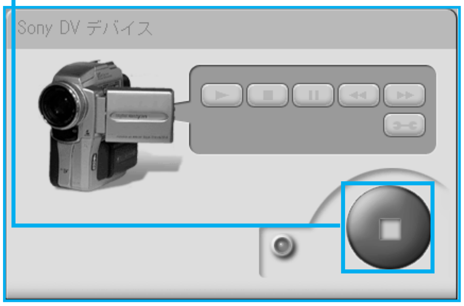
フォーマット	プロファイル
MPEG	DVD HQ（品質高）
	DVD GQ（品質良）
	DVD SP（標準再生）
	DVD LP（長時間再生）
	DVD EP（拡張再生）
AVI DV	DV AVI

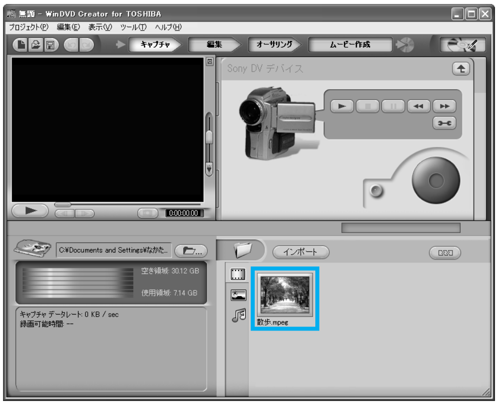
① ［再生］ボタンをクリック



② DVDに残したい映像になったら［録画］ボタンをクリック

③ 取り込みが終わりまできたら、［停止］ボタンをクリック





ビデオライブラリーに映像が表示され、映像が取り込まれました。

【「WinDVD Creator」の問い合わせ先】

インタービデオジャパン　ユーザーサポート

お問い合わせの前にホームページ（http://www.intervideo.co.jp/）のサポートページをご確認ください。
当製品の無償サポート期間は、ご購入後1年間となります。

受付時間　：月～金　9:30～17:00
（12:00～13:30および土、日、祝祭日、特定休業日は休み）
TEL　：045-226-3899
FAX　：045-226-3895
E-mail　：techsupp@intervideo.co.jp
ホームページ：http://www.intervideo.co.jp/

文書や表、メールを作る

マイクロソフト　オフィス　パーソナル　エディション
Microsoft® Office Personal Edition 2003



＊Office搭載モデルのみ

Microsoft® Office Personal Edition 2003には、次のアプリケーションが含まれています。

- ・Microsoft® Office Word 2003（ワープロソフト）
- ・Microsoft® Office Excel 2003（表計算ソフト）
- ・Microsoft® Office Outlook® 2003（電子メール／スケジュール管理ソフト）

案内状や報告書を作る（Microsoft® Office Word 2003）

（マイクロソフト　オフィス　ワード）

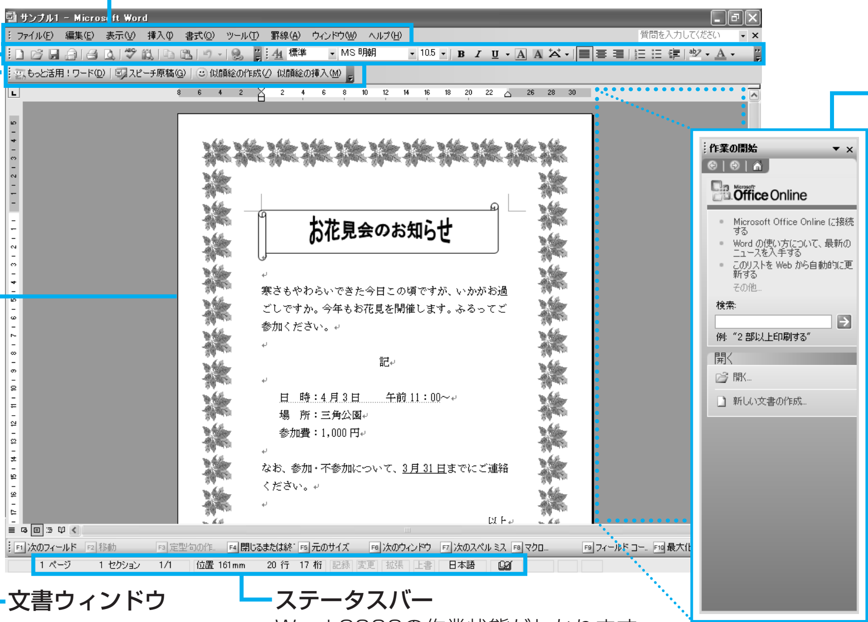
Word 2003は、きれいに体裁を整えた文書を作ることができるワープロソフトです。文字の種類や大きさを決めたり、文書に表やさし絵を入れたり、他のソフトで作った画像やグラフを貼り付けたりすることができます。書類作成などで大変役立ちます。

Word 2003を起動すると、次の画面が表示されます。

Home Styleツールバー
Word 2003をさらに活用することができる「Microsoft® Office Home Style+」のツールバーです。

ツールバー
よく使う機能のボタンが集められています。クリックするだけで機能を実行できます。

メニューバー
項目別に機能が収められています。クリックすると、操作のメニューが表示されます。



作業ウィンドウ＊
よく使うファイルや機能がまとめてあります。作業ウィンドウの内容は、状況に合わせて自動的に変更されます。

＊Word 2003起動時に表示されます。画面が狭く感じられる場合は、[×] をクリックしてウィンドウを閉じましょう。

文書ウィンドウ

ステータスバー
Word 2003の作業状態がわかります。

起動方法

起動方法は、次のとおりです。

1 ［スタート］→［すべてのプログラム］→［Microsoft Office］→［Microsoft Office Word 2003］をクリックする

ヘルプの起動方法

Word 2003についての詳細は、ヘルプを確認してください。起動方法は、次のとおりです。



① メニューバーの［ヘルプ］をクリック

② ［Microsoft Office Word ヘルプ］をクリック

表やグラフを作る（Microsoft® Office Excel 2003）

（マイクロソフト　オフィス　エクセル）

Excel 2003は、見積書や請求書、数字の多い報告書などを作成できる表計算ソフトです。項目や数字を入力して表を作り、計算式を設定すると自動的に計算を行うことができます。合計、平均、パーセント、標準偏差などの計算が可能です。また、入力した数字からグラフを作ることもできます。

Excel 2003を起動すると、次の画面が表示されます。

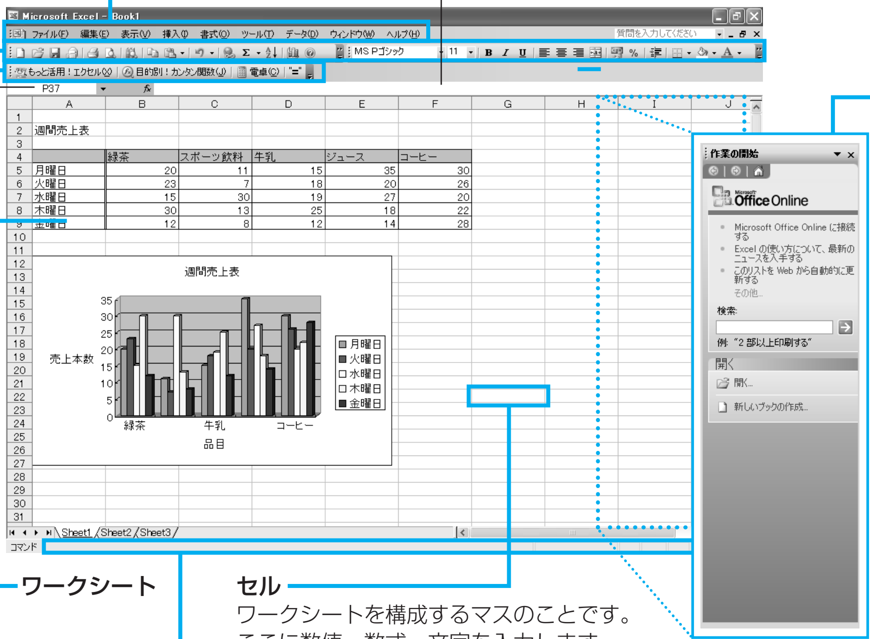
名前ボックス
セル番地（列番号＋行番号）で選択しているセルの位置などを表示します。

Home Styleツールバー
Excel 2003をさらに活用することができる「Microsoft® Office Home Style+」のツールバーです。

ツールバー
よく使う機能のボタンが集められています。クリックするだけで機能を実行できます。

メニューバー
項目別に機能が収められています。クリックすると、操作のメニューが表示されます。

数式バー
セルの内容（数値、数式、文字）を表示します。



作業ウィンドウ*
よく使うファイルや機能がまとめてあります。作業ウィンドウの内容は、状況に合わせて自動的に変更されます。

＊Excel 2003起動時に表示されます。画面が狭く感じられる場合は、✕ をクリックしてウィンドウを閉じましょう。

ワークシート

セル
ワークシートを構成するマスのことです。ここに数値、数式、文字を入力します。

ステータスバー
Excel 2003の作業状態がわかります。

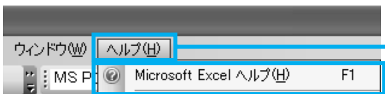
起動方法

起動方法は、次のとおりです。

1 ［スタート］→［すべてのプログラム］→［Microsoft Office］→［Microsoft Office Excel 2003］をクリックする

ヘルプの起動方法

Excel 2003についての詳細は、ヘルプを確認してください。起動方法は、次のとおりです。



① メニューバーの［ヘルプ］をクリック

② ［Microsoft Excelヘルプ］をクリック

メールをしたい（Microsoft® Office Outlook® 2003）

Outlook 2003は電子メールをはじめとして、予定表・連絡先・仕事の情報・Webサイトへのアクセスなどを管理できるスケジュール管理ソフトです。
ここでは、電子メールの機能について簡単に紹介します。

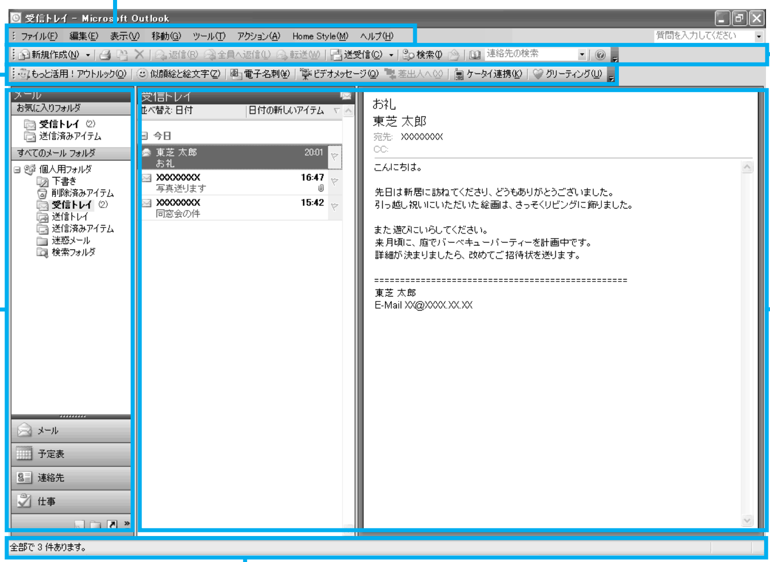
メモ

Outlook 2003は、プロバイダとの契約やメールの設定などが完了してから使用してください。設定内容の詳細については、契約したプロバイダに問い合わせてください。プロバイダによっては、Outlook 2003をメールソフトとして使用できない場合がありますので、契約するプロバイダが対応しているかどうか、確認してください。

Outlook 2003を起動すると、次の画面が表示されます。

Home Styleツールバー
Outlook 2003をさらに活用することができる「Microsoft® Office Home Style+」のツールバーです。

メニューバー
項目別に機能が収められています。クリックすると、操作のメニューが表示されます。



ツールバー
よく使う機能のボタンが集められています。表示されるボタンは、選択されているフォルダによって異なります。

閲覧ウィンドウ
選択したメールフォルダの内容が表示され、メールを閲覧することができます。

ステータスバー
Outlook 2003の状態を表示します。

ナビゲーションウィンドウ
［メール］ボタンをクリックすると、ウィンドウ上側にメールフォルダが表示されます。

起動方法

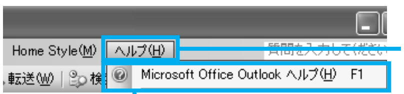
起動方法は、次のとおりです。

1 **［スタート］→［すべてのプログラム］→［Microsoft Office］→［Microsoft Office Outlook 2003］をクリックする**

初めてOutlook 2003を起動したときは、［Outlook 2003 スタートアップ］画面が表示されます。
画面に従って操作してください。

ヘルプの起動方法

Outlook 2003についての詳細は、ヘルプを確認してください。起動方法は、次のとおりです。

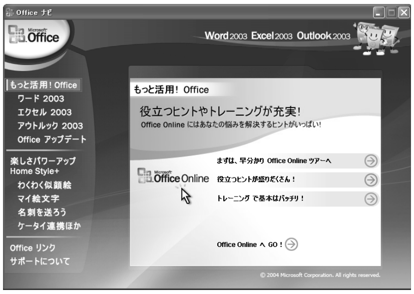


① メニューバーの［ヘルプ］をクリック

② ［Microsoft Office Outlookヘルプ］をクリック

Home Style⁺を活用する

「Microsoft® Office Home Style⁺」は、Office Personal 2003にさまざまな機能を追加するソフトウェアです。Home Styleツールバーに、Office Personal 2003と連携した機能をナビゲートするメニューが表示されます。



① Office Personal 2003起動後、Home Styleツールバーの［もっと活用！ワード］、［もっと活用！エクセル］、［もっと活用！アウトルック］ボタンをクリックする
　表示されるボタン名は、起動したアプリケーションによって異なります。
② 知りたい項目をクリックする
　ヘルプが表示されます。

Home Style⁺をより詳しく知りたいときは、「もっと活用！Office」を確認してください。
① ［スタート］→［すべてのプログラム］→［もっと活用！Officeナビ］をクリックする
② 使いたい機能のボタンをクリックする
　機能のヘルプやウィザードが表示されます。

Service Pack 1aがインストールされていない場合は、［スタート］→［すべてのプログラム］→［Microsoft Office Home Style⁺ ガイド］をご参照ください。

メモ

【初めて Office Personal 2003を起動したとき】
- Office Personal 2003のいずれかのアプリケーションを初めて起動したときは、［ユーザー名の指定］画面と［Microsoft Office 使用許諾契約書］画面が表示されます。使用許諾契約書に同意して使用してください。

【再セットアップしたとき】
- 再セットアップでは、Office Personal 2003は復元されません。Windowsのセットアップが終了した後に、『Microsoft® Office Personal Edition 2003 スタート ガイド』をよく読んで、復元してください。また、ライセンス認証を行う必要があります。詳細は『困ったときは 4章 再セットアップ』を確認してください。
- 再セットアップ後、Office Personal 2003を復元する前にメールソフトを起動すると、Outlook Expressが起動します。Office Personal 2003の復元後は、Outlook 2003が起動します。

【最新アップデート情報】
- Office Personal 2003の最新アップデート情報については、http://office.microsoft.com/OfficeUpdate/でご確認ください。
  なお、Home Style⁺のアップデートを行う場合は、Home Style⁺がインストールされている必要があります。

【「Word 2003／Excel 2003／Outlook 2003／Home Style⁺」の問い合わせ先】

マイクロソフト 無償サポート
<TEL>
TEL：東京：03-5354-4500
　　　大阪：06-6347-4400
※次の情報をお手元に用意してご連絡ください。
郵便番号、ご住所、お名前、電話番号、お問い合わせ製品のプロダクトID
詳細は、製品添付の「パッケージ内容一覧」をご覧ください。

<ホームページ>
ホームページ：http://support.microsoft.com/
※電話サポート（無償）もしくは、製品サポートからお問い合わせになる製品をお選びください。
備考　：マイクロソフトサポートWeb上から直接インターネットを通じてお問い合わせも可能です。
答えてねっと：http://www.kotaete-net.net/

<受付時間・お問い合わせ回数>
● セットアップ、インストールに関するお問い合わせ
受付時間　：9:30～12:00、13:00～19:00（平日）
　10:00～17:00（土曜日、日曜日）
　（マイクロソフト株式会社休業日、年末年始、祭日を除く。日曜日が祭日の場合は営業いたします。その場合、振替休日は休業させていただきます）
回数　：指定はございません。

● 基本操作に関するお問い合わせ
受付時間　：9:30～12:00、13:00～19:00（平日）
　10:00～17:00（土曜日）
　（マイクロソフト株式会社休業日、年末年始、祭日を除く）
回数　：4インシデント（4件のご質問）
インシデント制など詳細については『Microsoft® Office Personal Edition 2003 スタート ガイド』の「お問い合わせについて」をご覧ください。

パソコンの画面で見るマニュアル

オンラインマニュアル／よくあるご質問

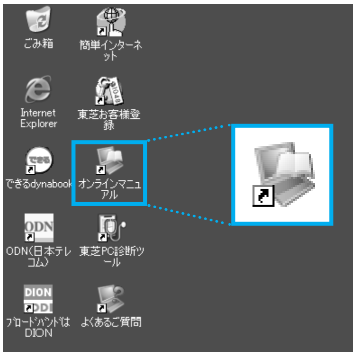


「オンラインマニュアル」や「よくあるご質問」は、パソコンの画面上で見ることができます。それぞれにどんな情報が記載されていて、どのように見るのか説明します。

オンラインマニュアル

「オンラインマニュアル」では、本製品に用意されているアプリケーションや、知っておくと便利な機能について紹介しています。

1 ［オンラインマニュアル］アイコンをダブルクリックする



「オンラインマニュアルご質問」が起動します。



［表示／非表示］ボタン
［目次］タブ、［検索］タブ、［お気に入り］タブの画面の表示／非表示を切り替えます。

［戻る］ボタン
直前に表示したページに戻ります。

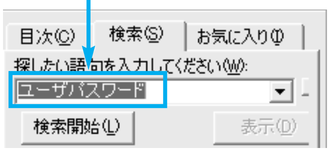
［進む］ボタン
一度ページを戻って表示しているとき、元のページに進みます。

［ホーム］ボタン
表紙に戻ります。

［印刷］ボタン
説明ページを印刷できます。

［目次］タブ
もくじが表示されます。
もくじの項目をクリックすると、右側に説明ページが表示されます。

［検索］タブ
入力したキーワードが含まれるページを検索します。
マニュアル中の（検索）のあとに記載されているキーワードを入力し、［検索開始］ボタンをクリックします。
例：《オンラインマニュアル（検索）：ユーザパスワード》



［お気に入り］タブ
よく見るページを登録すると簡単に表示できます。

ポインタが（手の形）に変わったところでクリックすると、説明ページが表示されます。

オンラインマニュアルの使いかた

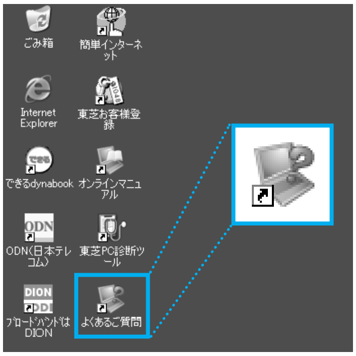
「オンラインマニュアル」の詳細な使いかたについては、画面左の［目次］タブで「オンラインマニュアルの使いかた」を選択してください。各画面やボタンの説明が表示されます。

よくあるご質問

「よくあるご質問」では、本製品を使用するにあたって、お客様からよく寄せられる質問をピックアップし、その回答と共に紹介しています。何かわからないことや操作で戸惑ったときは、「よくあるご質問」をご覧になってみてください。

「よくあるご質問」は、次のように起動します。

1 ［よくあるご質問］アイコンをダブルクリックする



「よくあるご質問」が起動します。

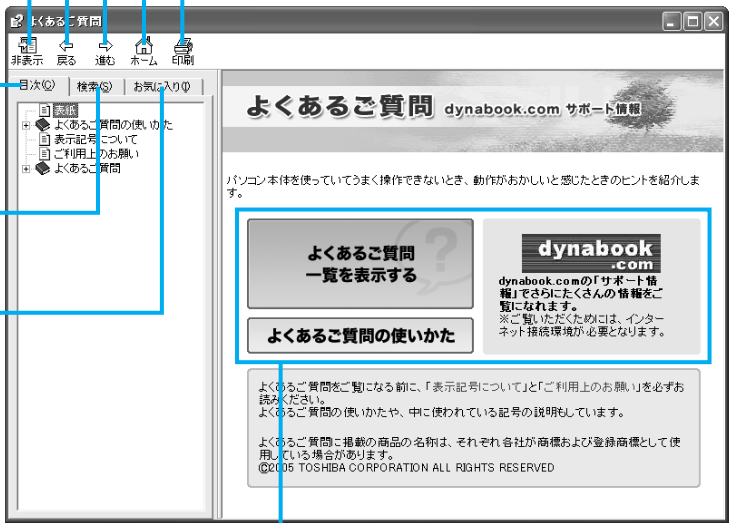
［表示／非表示］ボタン
［目次］タブ、［検索］タブ、［お気に入り］タブの画面の表示／非表示を切り替えます。

［戻る］ボタン
直前に表示したページに戻ります。

［進む］ボタン
一度ページを戻って表示しているとき、元のページに進みます。

［ホーム］ボタン
表紙に戻ります。

［印刷］ボタン
説明ページを印刷できます。



［目次］タブ
もくじが表示されます。
もくじの項目をクリックすると、右側に説明ページが表示されます。

［検索］タブ
入力したキーワードが含まれるページを検索します。

［お気に入り］タブ
よく見るページを登録すると簡単に表示できます。

ポインタが（手の形）に変わったところでクリックすると、説明ページが表示されます。

「よくあるご質問」では、一般的な操作方法を説明しています。お使いの機種によっては実際の画面と異なる場合がありますので、ご了承ください。

よくあるご質問の使いかた

「オンラインマニュアル」と同じく、詳細な使いかたは、画面左の［目次］タブで「よくあるご質問の使いかた」を選択してください。各画面やボタンの説明が表示されます。

【「オンラインマニュアル」「よくあるご質問」の問い合わせ先】

東芝（東芝PCダイヤル）
全国共通電話番号：0120-97-1048*
（通話料・サポート料無料）
受付時間：9:00〜19:00（年中無休）
＊ 2005年9月13日（火）から新番号となります。2005年9月12日（月）までは0570-00-3100にお問い合わせください。

システムメンテナンスのため、サポートを休止させていただく場合がございます。
海外からの電話、携帯電話などで、左記電話番号に接続できないお客様は、043-298-8780までご連絡ください。

パソコンの基本操作を学習する

できるdynabook（ダイナブック）



パソコンの基本操作を学習するには、「できるdynabook」を使います。Windows、インターネット、メールの基本操作について、レッスンごとに紹介されており、パソコンの画面上で学習することができます。

「できるdynabook」を操作する

1 デスクトップ上の［できるdynabook］をクリックする



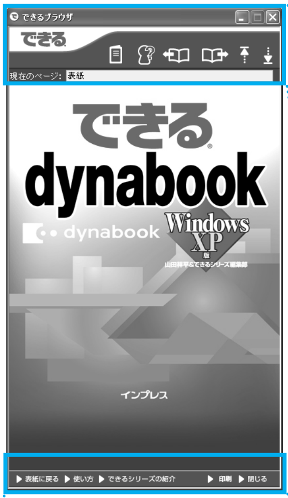
メモ

- 「できるdynabook」は常に最前面に表示されるように設定されています。［最小化］ボタンをクリックすると、画面右下の通知領域にアイコンを残して表示が消えます。元の大きさに表示を戻すときは、通知領域のアイコンをクリックしてください。
- 「できるdynabook」はデスクトップ上の［できるdynabook］アイコンをダブルクリックして起動することもできます。
- 「できるdynabook」では、一般的な操作方法を説明しています。お使いの機種によっては実際の画面と異なる場合や、ご利用いただけないソフトウェアの内容が含まれますのでご了承ください。





2 起動する





戻る
1レッスン前へ戻ります。

進む
1レッスン先へ進みます。

用語集
左側に用語集を開きます。

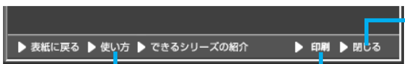
目次
左側に目次を開きます。

最小化
「できるdynabook」画面を最小化します。

上へ
1手順上へ戻ります。

下へ
1手順下へ進みます。

現在のページ
現在開いているレッスン番号とタイトルを表示します。



閉じる
「できるdynabook」を終了します。

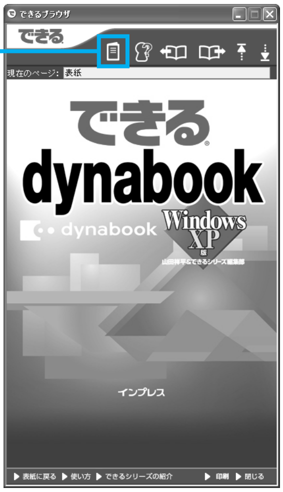
使い方
左側に「できるdynabook」のヘルプを開きます。

印刷
表示されているページを印刷します。

レッスンの画面を開く

ここでは、メールの操作を学習する目的を例にして、レッスンの画面を開く方法を説明します。

1 目次をクリックする

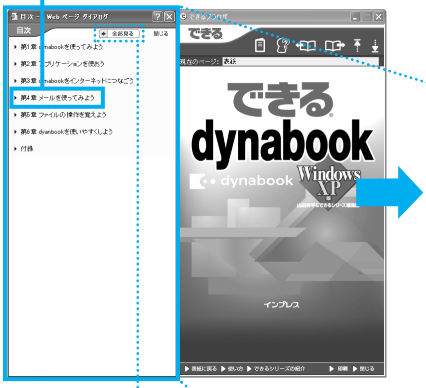


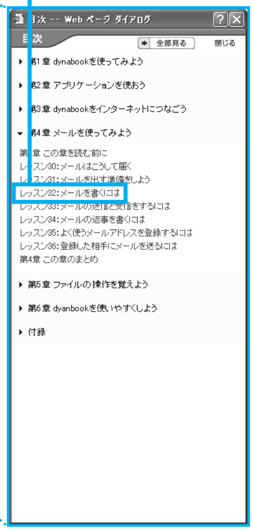
2 目的のレッスンをクリックする

ここでは、メールソフト「Outlook Express」でのメールの作成方法を学習する画面を表示します。

① [第4章 メールを使ってみよう] をクリック

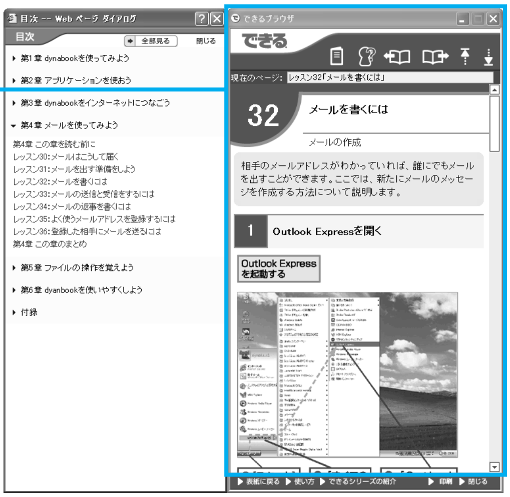
② [レッスン32：メールを書くには] をクリック





[全部見る] をクリックすると、目次の全項目が表示されます。

3 レッスン画面が表示される



画面の指示に従って学習してください。

「できるdynabook」では、次の内容を学習できます。

- 第1章 ：dynabookを使ってみよう
  - ・パソコンの基本操作について
- 第2章 ：アプリケーションを使おう
  - ・文字入力やファイルの作成方法など
- 第3章 ：dynabookをインターネットにつなごう
  - ・インターネットの接続／操作方法など
- 第4章 ：メールを使ってみよう
  - ・「Outlook Express」を使ったメールの設定／操作方法など
- 第5章 ：ファイルの操作を覚えよう
  - ・フォルダやファイルについて
- 第6章 ：dynabookを使いやすくしよう
  - ・デスクトップのデザインや時刻の変更方法など

【「オンラインマニュアル」「よくあるご質問」の問い合わせ先】

東芝（東芝PCダイヤル）

全国共通電話番号 ：0120-97-1048＊
（通話料・サポート料無料）

受付時間 ：9:00～19:00（年中無休）

＊ 2005年9月13日（火）から新番号となります。2005年9月12日（月）までは0570-00-3100にお問い合わせください。

システムメンテナンスのため、サポートを休止させていただく場合がございます。
海外からの電話、携帯電話などで、左記電話番号に接続できないお客様は、043-298-8780までご連絡ください。

問い合わせ先

OS／アプリケーション／プロバイダ



＊2005年8月現在の情報です。各社の事情で受付時間などが変更になることがあります。

OSの問い合わせ先

Windows セキュリティ センターなど、Microsoft® Windows® XP Service Pack 2 セキュリティ強化機能搭載の新規機能についてのサポート情報は、下記のホームページをご確認ください。

http://support.microsoft.com/

Windows XPに関する一般的なお問い合わせは、東芝PCダイヤルになります。

アプリケーションの問い合わせ先

各アプリケーションのユーザ登録については、それぞれの問い合わせ先まで問い合わせてください。

ゼンリンデータコム　デジタル全国地図its-mo Navi

ゼンリンデータコム　お客様相談室

E-mail　：itsmo_navi@zenrin-datacom.net
ホームページ　：http://www.zmap.net/contactus/index.html

gooスティック

goo事務局

受付時間　：10:00～17:00（土・日・祝日・年末年始を除く）
TEL　：045-848-4190
E-mail　：info@goo.ne.jp
ホームページ　：http://stick.goo.ne.jp

Norton Internet Security

●期限切れによる「更新サービスの延長」申し込み
シマンテックストア

ホームページ　：http://www.symantec.com/region/jp/techsupp/regist/oem/toshiba/
受付時間　：10:00～17:00（土・日・祝日・年末年始を除く）
TEL　：0570-005557（ナビダイヤル）
FAX　：0570-005558（ナビダイヤル）

●ユーザー登録およびご購入前の一般的なご質問に関するお問合せ
シマンテック コンシューマ カスタマーサービスセンター

受付時間　：10:00～17:00（土・日・祝日・年末年始を除く）
TEL　：0570-054115（ナビダイヤル）
FAX　：0570-054116（ナビダイヤル）

※FAXでのお問い合わせはご回答までにお時間がかかる場合があります。
お急ぎの場合は、お電話でのお問い合わせをお勧めいたします。

●技術的なお問い合わせ
シマンテック コンシューマ テクニカルサポートセンター

受付時間　：10:00～18:00（土・日・祝祭日を除く）

本センターをご利用頂くためには、ユーザー登録が必要です。また、ご利用期間は登録日から90日間となります。期間経過後のご利用は、有償サポートチケットをご購入頂くか、またはパッケージ製品へのアップグレードをご検討ください。
※テクニカルサポートセンターの連絡先は、ご登録された電子メールアドレス宛に通知いたします。
ユーザー登録サイト ： http://www.symantec.com/region/jp/techsupp/regist/oem/toshiba/

マカフィー・ウイルススキャン／マカフィー・パーソナルファイアウォールプラス

マカフィー・カスタマーオペレーションセンター
（主に、ユーザ登録や更新時お支払い等、オペレーション上でのお問い合わせ。）

受付時間　：9:00～17:00（土・日・祝祭日除く）
TEL　：0570-030-088
E-mail　：http://www.mcafeesecurity.com/japan/mcafee/support/consumer_contact.asp

マカフィー・テクニカルサポートセンター
（主に、ソフトウェアご使用上の操作方法や不具合等技術的なお問い合わせ。）

受付時間　：9:00～21:00（年中無休）
TEL　：0570-060-033
E-mail　：http://www.mcafeesecurity.com/japan/mcafee/support/contact.asp

ホームページ　：http://www.mcafeesecurity.com/japan/mcafee/support/

筆ぐるめ

富士ソフトABC株式会社　インフォメーションセンター

受付時間　：9:30～12:00、13:00～17:00（土・日・祝祭日・休業日を除く）
11月1日から12月30日までは無休
TEL　：03-5600-2551
FAX　：03-3634-1322
E-mail　：users@fsi.co.jp
ホームページ　：http://www.fsi.co.jp/product/

The翻訳インターネット

The翻訳サポートセンター

受付時間　：10:00～12:00、13:00～17:00（土・日・祝日ならびに本サポートセンター臨時休業日を除く）
TEL　：0120-1048-37（フリーダイヤル、携帯電話・PHSをご利用の場合には、03-5465-7290）
E-mail　：honyaku@toshiba-sol.co.jp
ホームページ　：http://pf.toshiba-sol.co.jp/prod/hon_yaku/seihin/internet/index_j.htm
※ユーザ登録をおすすめします。https://pf.toshiba-sol.co.jp/prod/hon_yaku/regist/tti_regist.htmlから
ユーザ登録を行うことができます。
※日本語のみでお受けいたします。

プロアトラス SV for TOSHIBA

株式会社アルプス社　カスタマーサポート

受付時間　：10:00～12:00、13:00～17:00（土・日・祝日・休業日を除く）
TEL　：052-789-1510
FAX　：052-789-1570（24時間受付）
E-mail　：support@alpsmap.co.jp
製品サポート　：http://www.alpsmap.co.jp/support/index.html

駅すぱあと

株式会社ヴァル研究所　「駅すぱあと」ユーザーサポートセンター

受付時間　：10:00～12:00、13:00～17:00（土・日・祝祭日・指定日を除く）
TEL　：03-5373-3522
FAX　：03-5373-3523
E-mail　：support@val.co.jp
※ユーザー登録されたお客様が対象になります。
ホームページ　：http://ekiworld.net/

駅探エクスプレス

駅探エスクプレスサポート

受付時間　：メールのため受付時間の制限はありません。
※webmasterからの返信は、基本的に平日（10:00～18:00）の対応とさせていただいております。
また、内容により返信できない場合、回答に日数を要する場合もありますので、あらかじめご了承ください。
E-mail　：express-support@ekitan.com
ホームページ　：http://express.ekitan.com/

Disney BB セレクト

ディズニー・インターネット・グループ・カスタマーセンター

営業時間 ：月～金10:00～20:00（土日祝日を除く）
TEL ：03-5977-7140
E-mail ：http://www.disney.co.jp/disneybb/contact
ホームページ ：http://www.disney.co.jp/disneybb

BroadNewsStreet

ニューズウォッチ

E-mail ：toshibapc@newswatch.co.jp
対応時間 ：平日10:00～17:30
（土、日、祝日、およびニューズウォッチが別途定める日はサポートの対象外となります。）

ホームページミックス /R.2

●ユーザー登録に関するお問い合わせ
ユーザー登録ご相談窓口

受付時間 ：平日10:00～19:00、土・日・祝日10:00～17:00（特別休業日を除く）
TEL ：東京　03-5412-2624　大阪　06-6886-2624
ホームページ ：http://www.justsystem.co.jp/service/

●製品の使い方に関するお問い合わせ
ジャストシステムサポートセンター

＊サポートセンターへお問い合わせの際には、お客様のUser IDおよび製品のシリアルナンバーが必要です。
受付時間 ：平日10:00～19:00、土・日・祝日10:00～17:00（特別休業日を除く）
TEL ：東京　03-5412-3980　大阪　06-6886-7160
ホームページ ：http://support.justsystem.co.jp/

Recovery Disc Creator

ソニック・サポートセンター

受付時間 ：10:00～12:00、13:00～17:00 （土・日・祝祭日・年末年始・特別行事日を除く）
TEL ：03-5232-6400

お問い合わせは、ソニック・ソリューションズのサポートページのメールサポートフォームより質問内容をお送りください。
ホームページ ：http://www.sonicjapan.co.jp/support/index.html

cocoa

NTTコミュニケーションズ カスタマーズフロント

受付時間 ：9:00～21:00：無休（年末年始を除きます）
TEL ：0120-506506
ホームページ ：http://coden.ntt.com/

i-フィルター Personal Edition 3

デジタルアーツ株式会社 i-フィルター・サポートセンター

受付時間 ：平日10:00～18:00、土・日・祝日10:00～20:00
TEL ：平日　03-5485-1334
土・日・祝日　0570-001334
E-mail ：p-support@daj.co.jp
ユーザーサポートお問い合わせフォーム ： https://sec2.daj.co.jp/userform/ask/form.htm

プロバイダの問い合わせ先

「簡単インターネット」やプロバイダサインアップソフトから契約できるプロバイダの問い合わせ先は、次のとおりです。

かるがるネット

かるがるネットサポートセンター

受付時間　：9:30～18:30（土・日・祝日を除く）
TEL　：03-5777-0670
FAX　：03-5777-0665
E-mail　：info@karugaru.net
ホームページ　：http://www.karugaru.net/

AOL

AOLメンバーサポートセンター

受付時間　：9:00～21:00（年中無休）
TEL　：0120-275-265　＊携帯電話、PHSの場合：03-5331-7400
FAX　：0120-379-930（自動案内）
E-mail　：aoljapanms@aol.com
ホームページ　：http://support.aol.co.jp/

BIGLOBE

NEC BIGLOBEカスタマーサポート インフォメーションデスク

受付時間　：9:00～22:00 365日受付
TEL　：0120-86-0962
＊携帯電話、PHS、CATV電話のかたはこちらへ：03-3947-0962
＊電話番号は、おかけ間違いのないようお願いします。
ホームページ　：http://support.biglobe.ne.jp/

DION

KDDIカスタマーサービスセンター

●サービス内容に関するお問合わせ
TEL　：0077-7192（無料／9:00～21:00／土・日・祝日も受付中）

●接続・設定等に関するお問合わせ
TEL　：0077-7084（無料／24時間受付／土・日・祝日も受付中）

ホームページ　：http://www.dion.ne.jp/
メールでのお問い合わせはホームページから：http://cs119.kddi.com/dion/

infoPepper

infoPepperインターネットサービス

受付時間　：10:00～12:00、13:00～17:00（休業日を除く月曜～金曜）
TEL　：044-201-0450
FAX　：044-246-1131
FAX・音声情報サービス：044-201-0449（24時間受付）
E-mail　：support@staff.pep.ne.jp
ホームページ　：http://www.pep.ne.jp/

OCN

●OCNサービスの入会に関するご相談

OCNヘルプデスク

TEL	：0120-047-747
受付時間	：9:00〜21:00（月〜金） 9:00〜17:00（土・日・祝）※年末、年始を除く

●OCNサービスご契約者専用お問い合わせ先

OCNカスタマサポート

TEL	：0120-047-860
FAX	：0120-047-861
受付時間	：9:00〜21:00（月〜金） 9:00〜17:00（土・日・祝日）※年末、年始を除く
E-mail	：support@ocn.ad.jp
ホームページ	：http://www.ocn.ne.jp/

ODN

ODNサポートセンター

●ODNサービスに関するお問い合わせ

TEL	：0088-86（無料。ダイヤルアップコース） 0088-222-375（無料。ADSL／光コース）
受付時間	：24時間自動受付（9:00〜18:00はオペレーター受付も可能）

●接続に関するお問い合わせ

TEL	：0088-85（無料。ダイヤルアップコース） 0088-228-325（無料。ADSL／光コース）
受付時間	：24時間自動受付（9:00〜18:00はオペレーター受付も可能。また、ADSL／光コースの場合、オペレーター受付は9:00〜21:00）

●E-mailによるお問い合わせ

ダイヤルアップコースサービス案内	：odn-support@odn.ad.jp
ダイヤルアップコース接続サポート	：tech-support@odn.ad.jp
ADSL／光コースサービス案内・接続サポート	：info-adsl@odn.ad.jp

●FAXによるお問い合わせ

ODN FAX サービス　：0088-218-586（無料。年中無休）

So-net

So-netインフォメーションデスク

受付時間	：9:00〜21:00（年中無休）
TEL	：0570-00-1414
FAX	：03-3446-7557
E-mail	：info@so-net.ne.jp
ホームページ	：http://www.so-net.ne.jp/support/

Yahoo! BB

Yahoo! JAPAN 新規Yahoo! BB申し込み受付センター

TEL	：0120-33-4546（フリーダイヤル）
受付時間	：9:00〜22:00　（月曜〜金曜） 8:00〜22:00　（土曜、日曜、祝日）

＊多数のお申し込みをいただいているため、20時以降、電話がつながりにくい場合があります。20時以前はつながりやすいので、ぜひご利用ください。

Trademarks

・Microsoft、Windows、Windows Media、Outlookは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
・BeatJam、ホームページミックスは、株式会社ジャストシステムの登録商標です。
・BeatJam、ホームページミックス /R.2は、株式会社ジャストシステムの著作物であり、BeatJam、ホームページミックス /R.2にかかる著作権、その他の権利は株式会社ジャストシステムおよび各権利者に帰属します。
・「駅前探険倶楽部」、「駅探」は登録商標です。
・The翻訳、The翻訳インターネットは東芝ソリューション株式会社の商標です。
・駅すぱあとは、株式会社ヴァル研究所の登録商標です。
・プロアトラスは、株式会社アルプス社および株式会社アルプス出版社の登録商標です。
・筆ぐるめは、富士ソフトABC株式会社の登録商標です。
・Symantec、Norton AntiVirus、LiveUpdateは、Symantec Corporationの登録商標です。
Norton Internet Securityは、Symantec Corporationの商標です。
・McAfee、VirusScanおよびマカフィーは米国法人McAfee, Inc.またはその関係会社の登録商標です。
・InterVideo、WinDVD、WinDVD CreatorはInterVideo,Inc.の登録商標または商標です。
・gooスティックは、NTTレゾナント株式会社の商標です。
・Sonic RecordNow!はSonic Solutionsの登録商標です。
・「i-フィルター」は、デジタルアーツ株式会社の商標です。
・「できる」は、株式会社インプレスの登録商標です。
・infoPepperは東芝情報システム株式会社の登録商標です。
・アメリカ・オンラインおよびAOLはAOLの登録商標です。
・BIGLOBEは日本電気株式会社の登録商標です。
・DIONはKDDI株式会社の登録商標です。
・OCNはNTTコミュニケーションズ株式会社の商標です。
・ODNは日本テレコム株式会社の商標です。
・So-net、ソネット、およびSo-netのロゴはソニー株式会社の商標、または登録商標です。
・かるがるネットは株式会社ジーエムエス総合研究所の登録商標です。
・メモリースティックはソニー株式会社の商標です。
・xD-ピクチャーカード™は、富士写真フイルム株式会社の商標です。
・i.LINKは商標です。
・スマートメディアは、株式会社東芝の登録商標です。

取扱説明書に掲載の商品の名称は、それぞれ各社が商標および登録商標として使用している場合があります。

・本書の内容は、改善のため予告なしに変更することがあります。
・本書の内容の一部または全部を、無断で転載することは禁止されています。
・落丁、乱丁本は、お取り替えいたします。
東芝PCダイヤルにお問い合わせください。

dynabook 図解で読むマニュアル

平成17年8月2日　　第1版発行　　GX1C0008V210

発行　株式会社 東芝 PC＆ネットワーク社

PC第一事業部　〒105-8001　東京都港区芝浦1-1-1

この冊子は植物性大豆油インキを使用しております。
この冊子は再生紙を使用しております。

東芝PC総合情報サイト
http://dynabook.com/

株式会社 東芝
PC＆ネットワーク社　PC第一事業部
〒105-8001　東京都港区芝浦1-1-1

GX1C0008V210
PRINTED IN CHINA